業　績　目　録

診療センター

救命救急センター

（論文）

1．岩村高志、小山敬、末安正洋、松本康、吉富有哉、朝日美穂、龍知歩．CBRNEテロ災害総論 特に化学テロについて．好生．2025;59:8-11
2．小山敬、末安正洋．令和６年能登半島地震 好生館DMATの対応．好生．2025;59:56-60

（学会発表）

1．朝日美穂．PEMECコースをより実践的なコースにするための工夫 九州におけるPEMECの拡がりと佐賀県での展望．第28回日本臨床救急医学会総会・学術集会．2025.6.19-21．横浜市
2．小山敬、龍知歩、朝日美穂、吉富有哉、松本康、岩村高志．当施設における低体温症の背景について．第29回日本救急医学会九州地方会．2025.6.27-28．佐賀市
3．上田勝也、杉野弘茂、辻大輔、井村友彦．佐賀県医療センター好生館における病院救命士の導入～現状報告と今後の展望～．第47回佐賀救急医学会．2025.9.13．佐賀市
4．朝日美穂．PEMECコースのご紹介．第47回佐賀救急医学会．2025.9.13．佐賀市
5．小山敬、末安正洋、竹尾彰宏．多様な医療機関の参加する空港災害訓練の見直しについて．第31回日本災害医学会総会・学術集会．2026.3.19-21．新潟市

（研究会・講演会）

1．岩村高志．内因性急死．佐賀県警察本部検視実務専科教養．2025.6.25．佐賀市
2．岩村高志．マムシ咬傷治療の考え方．公立佐賀中央病院．2025.8.13．多久市

脳卒中センター

脳神経外科、脳神経内科　各科に再掲

リハビリテーションセンター

（学会発表）

1．野田昇吾．当館リハビリテーションセンターにおけるクリニカルクラークシップの取り組みと今後の課題．2025.11.20．好生館医学会．佐賀
2．諫山達郎．当院における特発性間質性肺炎重症度分類改訂後の６分間歩行試験の実施状況と課題．呼吸ケア・リハビリテーション学会九州地方会．2026.3.1．佐賀
3．堤篤秀．高齢心疾患患者における６分間歩行距離の層別化による身体機能の特徴とハートケアプログラム介入効果の検討．第90回日本循環器学会学術集会．2026.3.20．福岡市

（研究会・講演会）

1．押切洋子．お家で簡単！エクササイズ．なごみの会．2025.4.28．佐賀市
2．佐々木健吉、笹山優河．Let'sロコモ予防．ゆめ佐賀大学．2025.5.21．佐賀市
3．佐々木健吉、笹山優河．Let'sロコモ予防．ゆめ佐賀大学．2025.6.11．佐賀市
4．市丸勝昭．動けば変わる！からだと血糖．令和７年度県民公開講座．2025.6.28．佐賀市
5．押切洋子．下肢リンパ浮腫患者のクリニカルパス作成および効果検証．第２回北部九州リンパ浮腫治療研究会．2025.7.26．福岡市
6．市丸勝昭．医療機器教育の実態調査．佐賀臨床工学会．2025.9.6．佐賀市
7．辻希代子．人工呼吸器について．若手セラピストによる呼吸リハビリテーション．2025.10.15．オンライン開催
8．市丸勝昭、納富里美．健康に過ごすための運動．ゆめ佐賀大学．2025.10.21．佐賀市
9．市丸勝昭、納富里美．健康に過ごすための運動．ゆめ佐賀大学．2025.10.23．佐賀市
10．市丸勝昭、納富里美．健康に過ごすための運動．ゆめ佐賀大学．2025.11.25．佐賀市
11．市丸勝昭、納富里美．健康に過ごすための運動．ゆめ佐賀大学．2025.12.9．佐賀市
12．片渕宏輔．ファシリテーター．第13回佐賀がんリハビリテーション研修会．2025.12.14．佐賀市
13．市丸勝昭．教育言論・人間関係論．臨床実習指導者研修会．2026.1.11．佐賀市
14．佐々木健吉、笹山優河．Let'sロコモ予防．ゆめ佐賀大学．2026.1.15．佐賀市
15．市丸勝昭、納富里美．健康に過ごすための運動．ゆめ佐賀大学．2026.1.20．佐賀市
16．押切洋子．リンパ浮腫（むくみ）を学ぼう．なごみの会．2026.1.26．佐賀
17．宮地佑弥.運動ってどうしたらいいの？．とんびの会．2026.3.7．佐賀市
18．納富里美．難病医療費助成改訂後の現状と課題．間質性肺炎Collaboration Seminar．2026.3.18．佐賀市

中央診療部門

集中治療部（ICU）

（学会発表）

1．八頭司正稔、三溝慎次．当院ICUにおける人工呼吸中の鎮静:フェンタニルからレミフェンタニルへの切り替えの影響について．第53回日本集中治療医学会学術集会．2026.3.5．横浜市

検査部

（論文）

1．Kubota Y, Kimura S. Enhancing the water solubility and efficacy of anticancer drugs using hydroxypropyl-β-cyclodextrin. Int J Mol Sci. 2026;27(2):915

2．Tanaka Y, Kubota Y, Kikuchi R, Yabushita T, Kimura T, Lieberam I, Barlow JL, Bramley JW, Fukushima T, Sakuma C, Shibata T, Nakagawa M, Kurosawa Y, Maruyama T, Okumura CJ, Arima Y, Sato Y, Ono Y, Akuta T, Mizuno H, Kent DG, Jessell TM, Goyama S, Nishikii H, Kimura S, Yamazaki S, Suda T, Kitamura T. Prospective isolation of mouse and human hematopoietic stem cells using PLXDC2. Commun Biol. 2026;9(1):20

3．Tsukiji H, Miyazaki S, Iino T, Yoshimoto G, Kubota Y. Acute myeloid leukemia with RUNX1::RUNX1T1 fusion transformed from JAK2V617F-mutated polycythemia vera: a case report. Cureus. 2025;17(9):e92609

4．Kubota Y. Olverembatinib for heavily pretreated BCR::ABL1-positive leukemia, including resistance or intolerance to ponatinib and/or asciminib. Ann Transl Med. 2025;13(2):13

5．Kubota Y, Sano H, Takeda Y, Yamaguchi K, Nakamura H, Kai K, Kidoguchi K, Kusaba K, Yokoo M, Ando T, Sueoka E, Kimura S. Pure red cell aplasia in a patient with thymic hyperplasia, hypogammaglobulinemia and adult T-cell leukemia/lymphoma. Intern Med. 2025;64(9):1393-1398

6．Matsunaga T, Naganuma K, Tanabe N, Mori Y, Nagata M, Momose S, Kubota Y. Immune thrombocytopenia in an adult with X-linked agammaglobulinemia: a case report. EJHaem. 2025;6(2):e1101

7．Kawakami T, Kawakami F, Matsuzawa S, Yamane T, Mizuno Y, Asakura A, Higano D, Miyairi S, Sakai K, Nishina S, Sakai H, Kubota Y, Higuchi Y, Nakazawa H, Ishida F. Mutational heterogeneities in STAT3 and clonal hematopoiesis-related genes in acquired pure red cell aplasia. Ann Hematol. 2025;104(3):1471-1479

8．山口健太、佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、松下義照、久保田寧、福岡麻美．血液培養自動分析装置Bac/T/ALERT VIRTUO導入前後における嫌気性菌検出状況の比較検討．臨床微生物迅速診断研究会誌．2025;35(1):1-6

9．桜田菜奈、築地秀典、宮﨑勢子、百田裕香、松下義照、飯野忠史、吉本五一、久保田寧．５番染色体長腕欠失とJAK2V617F変異を有し、異なる臨床像を呈した２症例．医学検査．2025;74(3):613-620

10．松本慎吾、多久島新、本村桂子、松下義照、久保田寧．超音波検査で経過観察中に一旦縮小傾向を示していたが、急速に増大した副腎神経芽腫の一例．好生．2025;59:41-43

11．久保田寧．シクロデキストリンの抗白血病作用の発見とその応用．好生．2025;59:2-7

（学会発表）

〔全国〕

1．Yasushi Kubota, Toshimi Hoshiko, Shinya Kimura. Development of folate-appended cyclodextrin to induce autophagic cell death in leukemia cells. The 15th JSH International Symposium 2025. 2025.5.16-17, Karatsu（Symposist）

2．吉田剛士、萩尾修平、西田千恵、北島茜、山口健太、松下義照、久保田寧、飯野忠史．当館における緊急輸血への対応　大量輸血プロトコル（MTP）運用について．第73回日本輸血・細胞治療学会学術集会．2025.5.30-6.1．札幌

3．久保田寧．当院での血球増加に対する骨髄増殖性腫瘍（MPN）遺伝子変異検査の運用．第72回日本臨床検査医学会学術集会．2025.8.28-30．千葉

4．崔希連、幸地祐、仙波雄一郎、石丸聖人、大賀慎太郎、飯野忠史、久保田寧、前田高宏、吉本五一．若年者および高齢者に発症したgermline DDX41変異を有する急性骨髄性白血病（AML）の２症例．第87回日本血液学会学術集会．2025.10.10-12．神戸

5．Yasushi Kubota, Tomomi Kashiwada, Michio Yasunami. Comprehensive genomic profiling at Koseikan to date: considerations including secondary findings. 日本人類遺伝学会第70回大会．2025.12.17-20．横浜
6．佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、山口健太、曲渕裕樹、福岡麻美、永沢善三、田中雅士．海外渡航歴のない患者からNDM-5型CPEが検出された１症例．第37回日本臨床微生物学会総会・学術集会．2026.2.13．千葉市
7．山口健太、佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、曲渕裕樹、福岡麻美．急激な経過を辿った重症熱性血小板減少症候群（SFTS）とCapnocytophaga canimorsusによる重複感染の１症例．第37回日本臨床微生物学会総会･学術集会．2026.2.14．千葉市
8．崔希連、幸地祐、石丸聖人、大賀慎太郎、飯野忠史、久保田寧、吉本五一．同種造血幹細胞移植後にPenicillium citrinum肺炎を発症した一例．第48回日本造血・免疫細胞療法学会総会．2026.2.27-3.1．東京

〔地方会〕

9．田中ひかる．IgM型RF高値患者のCRP結果報告に苦慮した一例．第28回佐賀県医学検査学会．2025.6.22．唐津市
10．大石若菜．当館における膵液細胞診と組織診の一致率の検討．第28回佐賀県医学検査学会．2025.6.22．唐津市
11．百田裕香．当館の持続皮下グルコースに関する取り組み．第28回佐賀県医学検査学会．2025.6.22．唐津市
12．山道圭一郎．急性心筋梗塞治療後の一例（EF目合わせ企画シンポジウム）．日本超音波医学会第35回九州地方会学術集会．2025.10.5．佐賀市
13．多久島新．乳頭部腫瘤を契機に発見された多発性骨髄腫の一例．日本超音波医学会　第35回九州地方会学術集会．2025.10.5．佐賀市
14．宮﨑勢子．血液 スライド カンファレンス　症例提示．2025年度 日臨技九州支部医学検査学会（第59回）．2025.10.18．大村市
15．大串菜々実．骨髄異形成腫瘍との鑑別を要した銅欠乏症の一例．日臨技九州支部医学検査学会（第59回）．2025.10.18．大村市
16．築地秀典．真性多血症からRUNX1::RUNX1T1融合遺伝子を有する急性骨髄性白血病へ移行した一症例．2025年度 日臨技九州支部医学検査学会（第59回）．2025.10.18．大村市
17．泉朱里．当館でのFilmArray髄膜炎・脳炎パネルの運用実績と臨床への貢献．2025年度 日臨技九州支部医学検査学会（第59回）．2025.10.18．大村市
18．萩尾修平．当館の免疫抑制剤投与患者におけるCMV管理状況の解析．2025年度 日臨技九州支部医学検査学会（第59回）．2025.10.18．大村市
19．堀優花．当院でのクロスミキシングテストにおける数値判定法の評価．2025年度 日臨技九州支部医学検査学会（第59回）．2025.10.19．大村市
20．吉田剛士．ISO15189認定取得を契機に見直した輸血部門の時間外教育体制の構築とその効果．2025年度 日臨技九州支部医学検査学会（第59回）．2025.10.19．大村市

〔その他〕

21．山口健太．Cutibacterium avidum 感染症の２例．2025年度九州耐性菌検査ネットワーク研修会総会．2025.4.20．佐賀市
22．山道圭一郎．血管年齢を若く保つには．佐賀県長寿社会振興財団　ゆめさが大学講義（佐賀校）．2025.6.4．佐賀市
23．坂井真一．膵原発神経内分泌腫瘍の１例．細胞診症例検討会．2025.7.8．佐賀市
24．松下義照．採血待ち時間短縮に向けた取り組み．多地点カンファレンス．2025.7.18．オンライン開催
25．新開幸夫．検査部での糖尿病関連業務へのかかわりと今後の課題．多地点カンファレンス．2025.7.18．オンライン開催
26．田中宏枝．ISO15189：2022移行審査受審と今後の課題．多地点カンファレンス．2025.7.18．オンライン開催
27．中村朱．がんゲノム医療への当館検査部の関わり方．多地点カンファレンス．2025.7.18．オンライン開催
28．佐野由佳理．微生物検査と薬剤耐性菌．佐賀県感染対策エキスパート職員研修．2025.8.5．佐賀市
29．山道圭一郎．下肢深部静脈血栓症（DVT）エコーの基礎．第９回糖尿病による血管合併症予防の会．2025.9.25．佐賀市
30．山道圭一郎．血管年齢を若く保つには．佐賀県長寿社会振興財団　ゆめさが大学講義（佐賀校）．2025.10.1．佐賀市
31．山道圭一郎．血管年齢を若く保つには．佐賀県長寿社会振興財団　ゆめさが大学講義（唐津校）．2025.10.9．佐賀市

32. 原成美．細胞診スライドカンファレンス．佐賀県病理・細胞診部門研修会．2025.10.16. 佐賀市
33. 吉田剛士．不規則抗体検査について．輸血部門研修会．2025.10.26．オンライン開催
34. 田口舜．グラム染色検査．日臨技九州支部研修会「微生物部門研修会」．2025.11.9．オンライン開催
35. 久保田寧.「私の自己紹介」～これまでの研究成果と当院の緊急輸血の現状～．第３回オーソ筑後地区セミナー．2025.11.12．久留米市
36. 西野達彦．臨床検査室に求められること～国際・国内の認定・認証～．2025年度日臨技九州支部 生物化学分析部門研修会．2025.11.23．福岡
37. 香月万葉．好生館検査部におけるリブレ２（アボット）のセンサー取付の運用．佐賀県臨床検査技師会企画研修会　タスクシフト/シェア　佐賀県内施設の現状．2025.12.9．オンライン開催
38. 山道圭一郎．当院における術中モニタリング検査の現状．佐賀県臨床検査技師会企画研修会　タスクシフト/シェア　佐賀県内施設の現状．2025.12.9．オンライン開催
39. 田口舜．Diagnostics Stewardshipに向けた当館における血液培養検査の運用－バクテアラートVIRTUOを活用して－. BioNet 感染症検査フォーラム九州・沖縄地区．2025.12.13．福岡市
40. 新開幸夫．2025年度精度管理解析．第54回（2025年度）九州精度管理研究会精度管理報告会．2026.2.1．福岡市
41. 田口舜．微生物部門/同定/試料26の解析報告．第54回(2025年度)九州精度管理研究会精度管理報告会．2026.2.1．福岡市
42. 西田千恵．赤血球型検査ガイドライン改訂５版－主な変更点と現場での実践－．第38回（令和７年度）佐賀県医師会 臨床検査精度管理調査報告会．2026.2.7．佐賀市＋Web
43. 新開幸夫．2026年度精度管理解析．第38回（令和７年度）佐賀県医師会 臨床検査精度管理調査報告会．2026.2.7．佐賀市＋Web
44. 原成美．卵巣腫瘍の１例．細胞診症例検討会．2026.2.10．佐賀市
45. 萩尾修平．一から始める演題（ネタ）探し～学会発表のネタ探しは難しい？　福臨技リーダープロジェクト主催「はじめての学会発表講座」．2026.2.21．福岡市
46. 中村朱．検査部でのカイゼン～文書管理システムの運用について～．令和７年度佐賀県医療センター好生館医学会総会．2026.3.14．佐賀市
47. 多久島新．法的脳死判定における脳波検査の実践．令和７年度第２回佐賀県臓器移植普及会議．2026.3.21．佐賀市

（院内の勉強会）

1．佐野由佳理．増えてます！薬剤耐性菌！！～当館における薬剤耐性菌の検出状況～（第214回病院マネジメント推進会）．2025.6.5
2．松本慎吾．研修医勉強会（腹部エコーハンズオン）．2025.6.12
3．多久島新．研修医勉強会（腹部エコーハンズオン）．2025.6.12
4．本村桂子．研修医勉強会（腹部エコーハンズオン）．2025.6.12
5．山道圭一郎．研修医勉強会（心エコーハンズオン）．2025.6.26
6．松隈有悟．研修医勉強会(心エコーハンズオン)．2025.6.26
7．梅木美由紀．研修医勉強会（心エコーハンズオン）．2025.6.26
8．田中宏枝．研修医勉強会(心エコーハンズオン)．2025.6.26

病理部

（発表）

1．坂井真一．悪性リンパ腫との鑑別を要した膵neuroendocrine tumorの１例．好生館症例検討会．2025.7.8．好生館
2．増田正憲．肺carcinosarcoma．第406回九州沖縄病理スライドコンファレンス．2025.7.12．オンライン開催
3．森大輔．卵巣奇形腫発生脂腺癌．第407回九州沖縄病理スライドコンファレンス．2025.9.12．佐賀市
4．森大輔. 膵mixed serous neuroendocrine neoplasm（Von Hippel Lindaw病）．第408回九州沖縄病理スライドコンファレンス．2025.11.1．久留米市
5．原成美．卵巣原発germinomaの１例．好生館症例検討会．2026.2.10．好生館

放射線部（技師部門）

（論文・執筆）

1．三井宏太. Hemodynamic subtype classification of type II endoleaks using time-enhanced curves and its association with aneurysmal enlargement. JVSeVascular Science. 2025.4;6:100288
2．久野敬矢. FFRangio導入４年間の経験と解析者の役割. Medtronic FFRangio casereport. 2025;2:1-2
3．三井宏太. 造影CT検査における副作用とその対策－日本と世界の最新の動向－. 日本放射線技術学会 九州支部会誌. 2026.1;24:41-45
4．三井宏太. 佐賀県医療センター好生館の特色. 日本救急撮影技師認定機構機関誌「JOINT」. 2026.3;15:16-17

（学会・研究会発表）

1．三井宏太. 造影理論の変遷と今後の展開. 第14回九州CT研究会. 2025.5.31. 福岡
2．津田規吏. CT画像におけるthin-slab maximum intensity projectionの基本的な画質特性. 第14回九州CT研究会. 2025.5.31. 福岡
3．津田規吏. CT画像におけるモーションアーチファクトの解像特性への依存性：シミュレーションによる検証. 令和７年度佐賀県放射線技師学術大会. 2025.6.22. 佐賀
4．上田一輝. 当館の検証(患者QA)方法について. 第12回佐賀放射線治療技術勉強会. 2025.7.19. 佐賀
5．三井宏太. Hemodynamic subtype classification of type II endoleaks using time-enhanced curves and its association with aneurysmal enlargement. 第28回CTサミット. 2025.8.2. 岐阜
6．三井宏太. "見えない"を"見える"に変える現場の「ひと工夫」. 第６回 九州キヤノン CTユーザー会. 2025.9.6. 福岡
7．久野敬矢. FFRangioでのLesion impact予測FFR値とPCI後FFR値の比較. POPAI2025. 2025.9.12-13. オンライン開催
8．津田規吏. CT angiography画像のサブトラクション処理において逐次近似再構成画像がピットフォールとなった症例. 第41回日本診療放射線技師学術大会. 2025.9.12-14. 福井
9．金丸翔. 放射線部教育体制のカイゼン. 好生館医学会. 2025.9.25. 佐賀
10. 久野敬矢. Super Userから拡げるFFRangio. FFRangio Super user training. 2025.10.11. 福岡
11. 久野敬矢. Lesion impact、PCI後のFFR解析で患者予後を診つめるFFRangio. 第53回日本放射線技術学会秋季学術大会. 2025.10.17-19. 北海道
12. 三井宏太. Centargoの導入のきっかけとその効果. RAD西日本SA_外来講師招聘勉強会. 2025.10.29. オンライン開催
13. 三井宏太. 造影CT検査の"失敗"を繰り返さないために～今できる対策とヒント～. 第20回九州放射線医療技術学術大会. 2025.11.1-2. 鹿児島
14. 中野竣、三井宏太、津田規吏、久野敬矢、織田信一郎. 回転照射法を用いた被写体厚変化に伴うX線実効エネルギーの精度検証. 第20回九州放射線医療技術学術大会. 2025.11.1-2. 鹿児島
15. 内山貴博、江口寛晃、三井宏太. 前立腺癌治療における体表面位置照合システムを用いたマーカーレスセットアップの位置精度. 第20回九州放射線医療技術学術大会. 2025.11.1-2. 鹿児島
16. 江口寛晃、内山貴博、三井宏太. 体表面位置照合システムを用いた胸部領域における皮膚マーカーレスセットアップの初期経験. 第20回九州放射線医療技術学術大会. 2025.11.1-2. 鹿児島
17. 津田規吏. CT画像の解像特性とモーションアーチファクトの関係：シミュレーションによる鮮鋭性の評価. 第20回九州放射線医療技術学術大会. 2025.11.1-2. 鹿児島
18. 久野敬矢. FFRangio up to date. ARIA2025. 2025.11.21-23. 福岡
19. 久野敬矢. POST PCI FFRangioの可能性. ARIA 2025. 2025.11.21-23. 福岡
20. 原健一郎. FFRangio解析の子血管トレース長におけるFFR値の影響. ARIA2025. 2025.11.21-23. 福岡
21. 江口寛晃. IDENTIFYによるマーカーレスセットアップの初期経験. 日本放射線腫瘍学会 第38回学術大会. 2025.11.27-29. 東京
22. 三井宏太. 喀血. 画論2025. 2025.12.13. 東京
23. 山口裕士、冨永絢盟. 造影CT検査はミクロからマクロへ～脳の灌流を可視化する. 第18回佐賀CT技術研究会. 2026.2.10. 佐賀
24. 坂井智和. 患者は動く、画像は動かさない～頭部MRIにおけるモーションアーチファクト対策～. 第８回佐賀MRI研究会. 2026.3.24. オンライン開催

（受賞）

1．津田規吏．学術奨励賞．令和７年度佐賀県放射線技師学術大会．2025.6.22
2．三井宏太．Cum Laude．第28回CTサミット．2025.8.2
3．久野敬矢．優良賞．ARIA2025．2025.11.23
4．三井宏太．優良賞．画論2025．2025.12.13

栄養管理部

（学会・研究会発表）

1．堀之内梨恵、牛島圭太、小根森智子、山本美紗子．膵切除術における術前経口補水療法の安全性と有効性．第29回佐賀NST研究会．2025.6.28．佐賀市
2．清川夏海、小根森智子、山内健、亀井一輝．胃瘻造設術後早期からのミキサー食注入と家族への食事指導の取り組み．第16回日本栄養治療学会九州支部学術集会．2025.7.5．鹿児島市
3．堀之内梨恵、牛島圭太、小根森智子、山本美紗子、江頭絵里奈、吉村達．糖尿病透析予防指導と１年間の腎症進展と関連因子の検討．第２回日本病態栄養学会九州地方会in宮崎．2025.10.23．都城市
4．中島美保子．褥瘡と栄養.第220回医療マネジメント推進会．2025.12.4．院内
5．牛島圭太、山本美紗子．栄養管理部調理部門の業務カイゼン．好生館医学会１月月例会．2026.1.15．院内

（講演等）

1．山本美紗子．糖尿病食は健康食～無理なく続ける食事のコツ～．令和７年度県民公開講座．2025.6.28．佐賀市

ME センター

（学会・研修会発表等）

1．平野徳章．当館における新人教育体制の現状と課題について．第39回 CVIT九州・沖縄地方会．2025.9.4．鹿児島
2．岩本渚．Excimer Laser systemの導入経験．第39回 CVIT九州・沖縄地方会．2025.9.4．鹿児島
3．園悠輔、馬場英明．当館における医療機器の多様化に対応した教育支援の取り組み．日本医療マネジメント学会 第22回 九州・山口連合大会．2025.11.28．大分
4．川﨑倫．パルスフィールドアブレーション時の筋弛緩薬併用麻酔の有効性と当院における自科麻酔体制構築の取り組み．第139回 日本循環器学会九州地方会．2025.12.6．福岡
5．三好夏喜．外科的心膜開窓術を併用して、持続性心室頻拍に対する心外膜アブレーションを施行した４症例の検討．第139回 日本循環器学会九州地方会．2025.12.6．福岡
6．松本淳一．チャンネル管理と徹底．第20回 九州・沖縄臨床工学会．2026.1.17．大分
7．三好夏喜．心臓カテーテル業務、何が一番大変？～後輩アンケートから見えた課題と勉強会の取り組み．第35回 九州トランスラディアル研究会 福岡Live Demonstration 2026．2026.2.21．熊本

診　療　科

総合内科

（学会発表）

1．岡奈那美、福岡麻美、高島由紀、犬山正仁、原野由美．結核治療中に発症した悪性カタトニアの一例．第352回 日本内科学会九州地方会．2026.1.24．福岡市

呼吸器内科

（学会発表）

1．貞松宏典、河東美奈、原口裕貴、梅口仁美、久保田未央、岩永健太郎．当館におけるMycobacterium abscessus検出例の臨床的検討．第65回日本呼吸器学会学術講演会．2025.4.11-13．東京

2．岩永健太郎、河東美奈、原口裕貴、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央．DNAR指示のある高齢呼吸不全患者に対する呼吸管理と転機の検討．第65回日本呼吸器学会学術講演会．2025.4.11-13．東京

3．原口裕貴、久保田未央、河東美奈、貞松宏典、梅口仁美、岩永健太郎．末梢肺病変に対するクライオ生検での1.1mmプローブと1.9mmプローブ使用時の安全性と有効性の比較検討．第48回日本呼吸器内視鏡学会．2025.6.12-13．仙台市

4．河東美菜、久保田未央、原口裕貴、貞松宏典、梅口仁美、岩永健太郎．当科における鳥特異的IgG抗体陽性患者の臨床的特徴．第95回日本呼吸器学会九州支部 秋季学術講演会．2025.10.31-11.1．那覇市

5．岩永健太郎、河東美奈、原口裕貴、貞松宏典、梅口仁美、久保田未央．当科におけるMAC抗体陽性患者の臨床的検討．第95回日本呼吸器学会九州支部 秋季学術講演会．2025.10.31-11.1．那覇市

6．原口裕貴、梅口仁美、河東美奈、原口裕貴、貞松宏典、久保田未央、岩永健太郎．癌関連網膜症を契機に発見された小細胞肺癌の一例．第66回日本肺癌学会学術集会．2025.11.6-11.8．東京

（受賞歴）

河東美奈．専攻医奨励賞．第95回日本呼吸器学会九州支部 秋季学術講演会．2025.10.31-11.1．沖縄

消化器内科

（論文）

1．Daisuke Yamaguchi, Takashi Akutagawa, Takahiro Yukimoto, Naoyuki Tominaga, Koichi Miyahara, Hiroharu Kawakubo, Ryuma Morita, Norihiro Okamoto, Yutaro Fujimura, Kento Sadashima, Hironobu Takedomi, Takuya Shimamura, Nanae Tsuruoka, Yasuhisa Sakata, Ryo Shimoda, Motohiro Esaki. The Usefulness of Over-the-Scope Clips for Managing Gastrointestinal Complications of Endoscopic or Surgical Procedures: The SAGA-OTSC Registry Study. JGH Open. 2025 Dec 20;9(12):e70316. 2025 Dec 20;9(12):e70316.

2．Yuga Komaki, Naoyuki Tominaga, Atsuo Yamada, Eiji Sadashima, Katsumasa Kobayashi, Atsushi Yamauchi, Jun Omori, Takashi Ikeya, Taiki Aoyama, Yoshinori Sato, Takaaki Kishino, Naoki Ishii, Tsunaki Sawada, Masaki Murata, Akinari Takao, Kazuhiro Mizukami, Ken Kinjo, Shunji Fujimori, Takahiro Uotani, Minoru Fujita, Hiroki Sato, Sho Suzuki, Toshiaki Narasaka, Junnosuke Hayasaka, Tomohiro Funabiki, Yuzuru Kinjo, Akira Mizuki, Shu Kiyotoki, Tatsuya Mikami, Ryosuke Gushima, Hiroyuki Fujii, Yuta Fuyuno, Takuto Hikichi, Yosuke Toya, Kazuyuki Narimatsu, Noriaki Manabe, Koji Nagaike, Tetsu Kinjo, Yorinobu Sumida, Sadahiro Funakoshi, Kiyonori Kobayashi, Tamotsu Matsuhashi, Kuniko Miki, Kazuhiro Watanabe, Fumisato Sasaki, Shuji Kanmura, Mitsuru Kaise, Naoyoshi Nagata. Distinct clinical course and poor outcomes of small bowel bleeding in acute hematochezia: a nationwide multicenter study. Sci Rep. 2026 May 13;16(1):13396. doi: 10.1038/s41598-026-47311-1.

（学会発表）

1．木村拓郎、冨永直之、阿部日向子、山口杏月、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也．難治性出血性十二指腸潰瘍に対してOver The Scope Clipにて止血し得た一例．第119回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 一般演題．2025.5.16．久留米

2．野村忠洋、冨永直之、阿部日向子、山口杏月、森田竜麻、松永拓也．当院でのレミマゾラムを用いた消化管内視鏡検査の鎮静に関する検討．第119回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 シンポ

ジウム．2025.5.17．久留米
3．冨永直之、野村忠洋、松永拓也．当院における難治性潰瘍性大腸炎に対するIL-23製剤の使用経験．第125回日本消化器病学会九州支部例会 ワークショップ．2025.5.17．久留米
4．冨永直之、阿部日向子、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也．当院におけるレミマゾラムによる下部消化管内視鏡鎮静の安全性と有効性の検討．第118回日本大腸検査学会九州支部会　一般演題．2025.8.30．大分
5．木村拓郎、冨永直之、阿部日向子、山口杏月、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也．肺癌化学療法中に発症した潰瘍性大腸炎の一例．第126回日本消化器病学会九州支部例会 一般演題．2025.11.28．大分
6．阿部日向子、冨永直之、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也．クエチアピン再開を契機に麻痺性イレウスを再燃した高齢者の一例．　第126回日本消化器病学会九州支部例会 一般演題．2025.11.28．大分
7．野村忠洋、冨永直之、阿部日向子、森田竜麻、松永拓也．経管栄養剤による急性薬剤性肝障害の一例．　第126回日本消化器病学会九州支部例会 一般演題．2025.11.29．大分
8．冨永直之、阿部日向子、山口杏月、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也．Endoligarにて止血し得た上行結腸憩室出血の一例．　第120回日本消化器内視鏡学会九州支部例会 一般演題．2025.11.29．大分
9．冨永直之、阿部日向子、山口杏月、野村忠洋、森田竜麻、松永拓也．早期胃癌に見えたが１年の経過で死亡に至った噴門部胃癌の一例．第98回日本胃癌学会総会 ポスター．2026.3.6．沖縄
10．松永拓也、阿部日向子、野村忠洋、森田竜麻、冨永直之．右側臥位Push法を用いて胃体上部大彎の粘膜下腫瘍に対して粘膜下層剥離術を行った一例．第98回日本胃癌学会総会 ポスター．2026.3.6．沖縄

（講演）

1．冨永直之．切除不能進行胃癌治療における内視鏡医の役割～HER2陽性を正しく検出するためのポイント～．第111回日本消化器病学会総会．2025.4.24．新宿
2．冨永直之．病理検体の取り扱いのポイント～正診率向上に向けた取り組み～．胃がん診療Up to date Web Seminar．2025.9.29．佐賀
3．冨永直之. みぞおちが痛い！～食道炎？胃がん？～．第１回日本消化管学会九州・沖縄支部市民公開講座．2025.12.21．佐賀
4．冨永直之．CODE BLUE-J Studyで明らかになったことと課題．GI Management Seminar in Fukuoka．2026.2.5．博多
5．冨永直之．内視鏡検体の取り扱いのポイント～HER2陽性胃癌 検出率向上に向けた取り組み～．ENDOSCOPE WEB SEMINAR．2026.3.26．大分

血液内科

（書籍）

1．吉本五一．急性骨髄性白血病の階層性発症プロセス．新・白血病学（上）－病態・診断・治療－．日本臨床；第83巻 増刊号4：33-39
2．吉本五一．慢性骨髄単球性白血病の治療．新・白血病学（下）－病態・診断・治療－．日本臨床；第83巻 増刊号5：211-219
3．吉本五一．解説：Uufit急性骨髄性白血病に対する予後分類．血液内科；第92巻, 第１号：100-104

（論文）

1．Tsukiji H, Miyazaki S, Iino T, Yoshimoto G, Kubota Y. Acute myeloid leukemia with RUNX-1::RUNX1T1 fusion transformed from JAK2 V617F-mutated polycythemia vera: a case report. *Cureus*. 2025 Sep 18;17(9): e92609.
2．吉本五一．高齢者急性骨髄性白血病治療．臨床血液, Rivised

〔共同研究〕

1．Goto T, Numata H, Katsuoka Y, Uoshima N, Hara S, Ando J, Ota S, Yoshimoto G, Matsuoka A, Hashiba H, Morita T, Tsutsui A, Imanaka R. Real-World Experience with Venetoclax Treatment for Newly-Diagnosed Acute Myeloid Leukemia in Japan (VENUS Study): An Interim Analysis Focusing on Neutropenia Management. *Oncol Ther*. 2025 Jun;13(2):519-527.
2．Sugio T, Miyawaki K, Uchida N, Niemann M, Spierings E, Mori K, Ohno Y, Eto T, Mori Y, Yoshimoto G, Kikushige Y, Kunisaki Y, Mizuno S, Nagafuji K, Iwasaki H, Kamimura T, Ogawa R, Miyamoto T, Taniguchi S, Akashi K, Kato K. Indirect presentation of mismatched human leukocyte antigen-B associates with outcomes of cord blood transplantation. *Br J Haematol*. 2025

May;206(5):1406-1417.

3．Imanaka R, Numata H, Katsuoka Y, Uoshima N, Hara S, Ando J, Ota S, Yoshimoto G, Matsuoka A, Morita T, Tsutsui A, Kosugi-Kanaya M, Goto T. Real-world outcomes of venetoclax and azacitidine in Japanese patients with newly diagnosed acute myeloid leukemia (VENUS study). *Int J Hematol*. 2026;123(2):178-188.

4．Mori Y, Kohno K, Ueno T, Odawara J, Kawano N, Nagafuji K, Harada T, Yoshimoto G, Kuriyama T, Urata S, Tanimoto K, Kikushige Y, Ogawa R, Ohno Y, Kamimura T, Ito Y, Takase K, Eto T, Fujisaki T, Tanimoto K, Katayama Y, Akashi K, Takenaka K, Miyamoto T; Fukuoka BMT Group. Comparison of quantitative PCR values and antigenemia for CMV monitoring in hematopoietic cell transplant recipients. *Int J Hematol*. 2026 Mar;123(3):444-452.

（学会発表）

〔学会シンポジウム〕

1．吉本五一．急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植への橋渡し治療：新規薬剤時代の最適戦略．第48回日本造血・免疫細胞療法学会．2026.2.28．東京

〔口演〕

1．吉本五一、崔希連、石丸聖人、大賀慎太郎、幸地祐、飯野忠史．造血器疾患のおけるイサブコナゾールを用いた真菌感染症管理．第87回日本血液学会学術集会．2025.10.10．神戸市

2．○Yu Kochi, Yuichiro Semba, SungGi Chi, Huiyeon Choi, Masato Ishimaru, Shintaro Ohga, Tadafumi Iino, Yosuke Minami, Takahiro Maeda, Goichi Yoshimoto. Clinical impact of next generation sequencing based genetic analysis in real world clinical practice. October 11, 2025, The 87th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kobe

〔ポスター〕

1．○崔希連、幸地祐、仙波雄一郎、石丸聖人、大賀慎太郎、飯野忠史、久保田寧、前田高宏、吉本五一．若年者および高齢者に発症したgermline DDX41変異を有する急性骨髄性白血病（AML）の2症例．第87回日本血液学会学術集会．2025.10.11．神戸市

2．○吉本五一、崔希連、石丸聖人、大賀慎太郎、幸地祐、飯野忠史．VenAza療法におけるVen14日対21日投与期間のAML治療成績への影響（後方視的比較）．第87回日本血液学会学術集会．2025.10.11．神戸市

3．○飯野忠史、幸地祐、石丸聖人、幸地祐、崔希連、吉本五一．高齢者びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫に対するPolaR-CHP療法及びPola BR療法の後方視的解析．第87回日本血液学会学術集会．2025.10.11．神戸市

4．○崔希連、幸地祐、石丸聖人、大賀慎太郎、飯野忠史、久保田寧、吉本五一．同種造血幹細胞移植後にPenicillium citrinum肺炎を発症した一例．第48回日本造血・免疫細胞療法学会．2026.2.28．東京

5．幸地祐、崔希連、飯野忠史、吉本五一．中枢神経病変を合併した成人発症FHL3に対しATG+PtCyを用いたHaplo移植を施行した一例．第48回日本造血・免疫細胞療法学会．2026.3.1．東京

〔共同演者〕

〔口演〕

1．森田彩巴、岩崎惇、諫田淳也、池成基、内藤知希、池田大輔、細野奈穂子、山内高弘、福島健太郎、吉本五一、吉満誠、楠本茂、高橋直人、堺田惠美子、臼杵憲祐、田中圭祐、高折晃史、南陽介．AMLの造血幹細胞移植における意思決定のためのNGSに基づくリスク層別化：HM01およびHM02コホートからの知見．第87回日本血液学会学術集会．2025.10.10．神戸市

2．Isamu Harima, Naoko Hosono, Tomoki Naito, SungGi Chi, Hironori Arai, Seiji Kakiuchi, Koichi Onodera, Kentaro Fukushima, Satoshi Iyama, Takayuki Ikezoe, Kensuke Kojima, Junya Kuroda, Koji Izutsu, Hirotaka Matsui, Goichi Yoshimoto, Junya Kanda, Takahiro Yamauchi, Yosuke Minami. AML genomic classification and prognosis: long-term follow-up from multicenter study HM01-02. October 11, 2025, The 87th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kobe

3．Minoru Kanaya, Yuji Mukai, Goichi Yoshimoto, Mirei Kobayashi, Sayaka Kajikawa, Toma Suzuki, Naoki Miyashita, Shinpei Harada, Emi Yokoyama, Koh Izumiyama, Makoto Saito, Masanobu Morioka, Akio Mori, Toshihiro Matsukawa, Masahiro Onozawa, Mitsuru Moriyama, SungGi Chi, Takanori Teshima, Yosuke Minami, Masato Homma, Takeshi Kondo. Final results of

venetoclax pharmacokinetics study with AML: collaboration with HM-SCREEN Japan. October 11, 2025, The 87th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kobe

4．Tomoaki Ueda, Kentaro Fukushima, SungGi Chi, Hiroshi Haeno, Goichi Yoshimoto, Hironori Arai, Daisuke Ikeda, Motoshi Ichikawa, Naoto Takahashi, Naoko Hosono, Takahiro Yamauchi, Takeshi Kondo, Shigeru Kusumoto, Junya Kuroda, Yosuke Minami. Genomic and clinical predictors of azacitidine/venetoclax response in AML: results from HMS02 study. October 11, 2025, The 87th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kobe

5．高瀬謙、宮本敏浩、衛藤徹也、藤崎智明、谷本一樹、菊繁吉謙、崔日承、今村豊、盛暁生、長藤宏治、河野徳明、大野裕樹、竹中克斗、上村智彦、小川亮介、伊藤能清、豊嶋崇徳、吉本五一、石塚賢治、米本孝二、原田実根、赤司浩一．初発急性前骨髄球性白血病に対するATRAとATO早期併用療法多施設共同試験FBMTG APL 2017. 第87回日本血液学会学術集会．2025.10.11．神戸市

6．Senji Kasahara, Yuichiro Semba, Yoshikane Kikushige, Takahiro Maeda, Goichi Yoshimoto, Syuichi Ota, Akio Saito, Yuho Najima, Hiroki Hosoi, Daigo Niiya, Koji Kato, Koji Nagafuji, Takashi Akasaka, Tomohiko Kamimura, Atsushi Takita, Maiko Narahara, Tadashi Toki, Koichi Iwanaga, Koji Yonemoto, Toshihiro Miyamoto, Mine Harada, Koichi Akashi. The resistance mechanisms of quizartinib in FLT3-ITD positive relapsed or refractory AML patients. October 11, 2025, The 87th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kobe

7．Naoko Hosono, SungGi Chi, Koichi Onodera, Kentaro Fukushima, Satoshi Iyama, Seiichiro Katagiri, Takayuki Ikezoe, Takahiro Kobayashi, Kensuke Kojima, Junya Kuroda, Koji Izutsu, Hirotaka Matsui, Goichi Yoshimoto, Makoto Yoshimitsu, Takeshi Kondo, Yukinori Nakamura, Junya Kanda, Takahiro Yamauchi, Yosuke Minami. Analysis of prognostic factors for AML in patients aged 65 years and older: HM-SCREEN-01/02 study. October 11, 2025, The 87th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kobe

〔ポスター〕

1．Takahiro Shima, Koji Nagafuji, Toshihiro Miyamoto, Shuichi Ota, Yuna Katsuoka, Satoshi Yoshihara, Naoyuki Uchida, Senji Kasahara, Hiroki Hosoi, Mitsumasa Watanabe, Hitoji Uchiyama, Junya Kanda, Takeru Asano, Yuichiro Nawa, Ken Takase, Atsushi Satake, Junya Kuroda, Tetsuya Eto, Yutaka Imamura, Yasuhiko Miyazaki, Akio Mori, Satoshi Yamamoto, Takahiro Nagashima, Shinichi Masuda, Yoshiki Nakae, Hitoshi Minamiguchi, Yuta Katayama, Tatsunori Ishikawa, Shiro Fujii, Tomoaki Fujisaki, Katsuto Takenaka, Goichi Yoshimoto, Ilseung Choi, Masao Ogata, Koji Kato, Naoki Harada, Mika Kuroiwa, Masahiro Onozawa, Hisashi Yamamoto, Junichi Kitagawa, Taku Tsukamoto, Noboru Asada, Ryota Imanaka, Kazushi Tanimoto, Shuro Yoshida, Yuichiro Semba, Yoshikane Kikushige, Yoshikiyo Ito, Takahiro Maeda, Koichi Akashi. Efficacy of upfront blinatumomab combined with reduced-intensity chemotherapy for newly diagnosed adult Philadelphia chromosome–negative B-lineage acute lymphoblastic leukemia: Interim analysis of two prospective studies of JSCT ALL/MRD2023 and ALL/MRD2019 in Japan. October 11, 2025, The 87th Annual Meeting of the Japanese Society of Hematology, Kobe. December 6, 2025, The 67th Annual Meeting of the American Society of Hematology, Orlando

（講演会）

〔座長〕

1．吉本五一．Meiji HCT Conference．2026.2.10．福岡

2．吉本五一．AML治療におけるティブソボの位置付け．2026.2.14．福岡

3．吉本五一．再発・難治性FLに対する治療アプローチ．第48回日本造血・免疫細胞療法学会 スイーツセミナー．2026.2.28．東京

〔講演〕

1．吉本五一．明日から使えるVen+AZA治療継続のTips．AbbVie Oncology Web Seminar．2025.4.25．佐賀より配信

2．吉本五一．AML治療における骨髄検査の位置付けとその変遷．AbbVie Bone Marrow Evaluation Web Seminar．2025.6.27．福岡

3．吉本五一．実臨床におけるFLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略～移植非適応を中心に～．ゾ

スパタ WEB シンポジウム．2025.7.3．佐賀より配信
4．吉本五一．明日から使えるVen+AZA治療継続のTips．BCL-1 Forum in 西日本．2025.8.2．福岡
5．吉本五一．遺伝子異常を踏まえた新たなAML治療戦略．TIBSOVO AML Web seminar．2025.9.18．佐賀より配信
6．吉本五一．明日から使えるVen+AZA治療継続のTips．第87回日本血液学会学術集会 イーブニングセミナー．2025.10.11．神戸
7．吉本五一．明日から使えるVen+AZA治療継続のTips．AbbVie Oncology Web Seminar．2025.10.17．東京より配信
8．吉本五一．造血器疾患における深在性真菌症の実臨床～イサブコナゾールの位置付け～．クレセンバWeb講演会．2025.11.4．福岡より配信
9．吉本五一．FLT3遺伝子変異を軸に学ぶAMLの基礎と分子標的薬．AML Lunch Break Seminar ～Expertに学ぶAMLの診断と治療～ 第１回．2025.11.7．佐賀より配信
10．吉本五一．AMLに対する新規薬剤時代の診断と治療．第９回日本検査血液学会九州支部学術集会ランチョンセミナー．2025.11.15．福岡
11．吉本五一．実臨床におけるFLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略～移植適応を中心に～．AML Lunch Break Seminar ～Expertに学ぶAMLの診断と治療～ 第２回．2025.11.21．佐賀より配信
12．吉本五一．実臨床におけるFLT3阻害剤を用いたAMLの治療戦略～移植非適応を中心に～．AML Lunch Break Seminar ～Expertに学ぶAMLの診断と治療～ 第３回．2025.12.19．佐賀より配信
13．吉本五一．CPX-351を用いたAML治療戦略．第24回日本血液学会関東甲信越地方会ランチョンセミナー．2026.3.21．東京

〔アドバイザー〕
1．吉本五一．急性骨髄性白血病領域におけるコンサルテーションミーティング．住友ファーマ．2026.10.3．佐賀
2．吉本五一．AML Advisory Meeting．アッヴィ合同会社．2026.1.22．佐賀

肝臓・胆のう・膵臓内科

（論文）

1．Yoshioka W, Kubotsu Y, Norita M, Kitsuka M, Yada T, Inoue K, Kuwashiro T, Yamaguchi I, Oeda S, Isoda H, Iyadomi M, Eguchi Y, Sueoka E, Takahashi H. Metabolic Effect on Serum Mac-2 Binding Protein Glycan Isomer Level and Its Normal Range in the Health Checkup Examinee. Hepatol Res. 2026;56(4):496–504. doi:10.1111/hepr.70089. PMID: 41369073.
2．Miwa K, Kawasaki R, Shimokawa M, Otsuka T, Tanaka T, Fukahori M, Shibuki T, Nakazawa J, Arima S, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Shimokawa H, Takeshita S, Nishikawa K, Komori A, Otsu S, Hosokawa A, Sakai T, Oda H, Kawahira M, Arita S, Honda T, Taguchi H, Tsuneyoshi K, Fujita T, Sakae T, Kawaguchi Y, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Efficacy of third-line chemotherapy following nanoliposomal irinotecan combined with fluorouracil and folinic acid as second-line treatment for unresectable pancreatic cancer. Front Oncol. 2025;15:1626689. doi:10.3389/fonc.2025.1626689. PMID: 40746600.
3．Araki T, Shirakawa T, Shimokawa M, Otsuka T, Hayashi K, Sonoda Y, Honda T, Miyaaki H, Nakazawa J, Shimokawa H, Shinohara Y, Koga F, Oza N, Oda H, Takeshita S, Arima S, Arita S, Kawaguchi Y, Nishikawa K, Otsu S, Taguchi H, Jikuya K, Sakai T, Ueda Y, Sakae T, Araki N, Sawase H, Ide Y, Kawahira M, Nio K, Mizuta T, Mitsugi K. Chemotherapy-induced neutropenia predicts short-term outcome of patients with pancreatic cancer treated with nanoliposomal irinotecan, fluorouracil, and folinic acid. Int J Cancer. 2026;158(1):140–152. doi:10.1002/ijc.70072. PMID: 40749122. Epub 2025 Aug 1.
4．Nishikawa K, Otsuka T, Shimokawa M, Inagaki T, Komori A, Todaka A, Otsu S, Shibuki T, Nakazawa J, Arima S, Miwa K, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Shimokawa H, Takeshita S, Hosokawa A, Sakai T, Oda H, Kawahira M, Arita S, Honda T, Taguchi H, Tsuneyoshi K, Fujita T, Sakae T, Kawaguchi Y, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Impact of biliary drainage for unresectable pancreatic cancer treated with nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid: retro-

spective results from the NAPOLEON-2 study. BMC Cancer. 2025;25:1614. doi:10.1186/s12885-025-14992-2. PMID: 41121079.

5．Koike T, Kawaguchi Y, Shimokawa M, Otsuka T, Furukawa K, Shinohara Y, Shimokawa H, Yoshihiro T, Shibuki T, Nakazawa J, Arima S, Miwa K, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Takeshita S, Nishikawa K, Komori A, Otsu S, Hosokawa A, Sakai T, Oda H, Kawahira M, Arita S, Honda T, Taguchi H, Tsuneyoshi K, Fujita T, Sakae T, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Impact of prior chemotherapy on nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid for unresectable pancreatic cancer: a retrospective analysis of data from the multicenter NAPOLEON-2 study. Ther Adv Med Oncol. 2025;17:17588359251393156. doi:10.1177/17588359251393156. PMID: 41267760.

6．Kakihara A, Takeshita S, Shimokawa M, Otsuka T, Arima S, Ido A, Shibuki T, Nakazawa J, Miwa K, Koga F, Ueda Y, Kubotsu Y, Shimokawa H, Komori A, Nishikawa K, Otsu S, Hosokawa A, Sakai T, Oda H, Kawahira M, Arita S, Honda T, Tsuneyoshi K, Taguchi H, Kawaguchi Y, Fujita T, Sakae T, Shirakawa T, Mizuta T, Mitsugi K. Nanoliposomal irinotecan with fluorouracil and folinic acid in older versus younger patients with unresectable pancreatic cancer: the multicenter NAPOLEON-2 study. Asia Pac J Clin Oncol. 2026;22(3):447–456. doi:10.1111/ajco.70041. PMID: 41186933. Epub 2025 Nov 4.

（学会）

1．森桃子 他．退形成性膵癌の４例の検討．第56回日本膵臓学会大会，若手award「医学生・研修医・メディカルスタッフ・セッション２」，YIA2-10．2025.7.25．東京

2．Yoshioka W, et al. IMPACT OF BILIARY DRAINAGE FOR UNRESECTABLE PANCREATIC CANCER TREATED WITH NANOLIPOSOMAL IRINOTECAN WITH FLUOROURACIL AND FOLINIC ACID: A MULTICENTERED PROSPECTIVE STUDY (NAPOLEON-2). UEG Week 2025, Berlin, Oct 7, 2025. Moderated Poster.

3．藤本光 他. 切除不能膵癌における化学療法導入前胆道ドレナージと予後の検討．第126回日本消化器病学会九州支部例会，ワークショップ１「胆・膵悪性疾患への内科・外科治療－最近の進歩－」，WS1-9．2025.11.28．大分

4．佐々木俊介 他．膵神経内分泌腫瘍として加療するも最終的に腎細胞癌の膵転移の診断に至った１例．126回日本消化器病学会九州支部例会，研修医発表，胆膵２，研051．2025.11.28．大分

5．岡奈那美 他．BRCA遺伝子変異陽性膵癌の１例．第126回日本消化器病学会九州支部例会，研修医発表，胆膵２，研052．2025.11.28．大分

（講演会）

1．吉岡 航．５年OS達成を見据えた最適な薬物治療戦略とは．佐賀肝細胞癌治療セミナー．2025.11.20

2．中尾睦．当院における肝細胞癌薬物治療．肝細胞癌免疫療法セミナー in SAGA．2025.12.19

3．窪津祥仁．当院における肝性脳症の診断と治療～改訂ガイドラインを踏まえた治療戦略～第７回佐賀県肝硬変Webセミナー．2026.2.19

4．吉岡航．ICI時代における長期生存を目指した治療戦略～コンバージョンも見据えて～胆管炎マネジメントの観点から．筑後佐賀胆道癌集学的治療カンファレンス．2026.2.26

5．吉岡航．膵癌化学療法における胆道ドレナージの予後への影響．Pancreatic Cancer Expert Web Academy in Japan．2026.3.6

（メディア出演）

1．吉岡航、稲富千佳．令和７年度がん県民公開講座「サガせ！健康の鍵～知っておきたい肝臓がんのこと～」．サガテレビ．2026.1.31

腫瘍内科（臨床腫瘍科）

（著書）

1．柏田知美．あらゆるCQにこたえる消化管癌薬物療法マニュアル．胃がん薬物療法　Q2　高齢者胃癌一次治療：オキサリプラチンは併用すべき？ISBN : 978-4-524-21858-5．2025.10

（依頼原稿）

1．柏田知美．編集同人よりごあいさつ　YORi-SOUがんナーシング．2025;15(1):22-24

2．柏田知美．実践特集 投与前・中・後のチェックポイントと患者ケアがバッチリわかる！ これだけ押さえておけば安心☆ 病棟ナースのおまもりレジメン30．YORi-SOUがんナーシング．2025;15(1):27-27

3．柏田知美．01 がん薬物療法におけるナースの役割と投与管理におけるチェックポイント．YORi-SOUがんナーシング．2025;15(1):28-31

（論文）

1．Oki E, Yamada T, Kashiwada T, Sonoda H, Kataoka M, Kawanaka H, Tsuji Y, Makiyama A, Ota M, Hu Q, Ando K, Tsuda Y, Shimokawa M, Yoshizumi T. Efficacy and safety of trastuzumab biosimilar CT-P6 plus SOX or CapeOX in HER2-positive advanced gastric cancer: a multicenter phase II KSCC-TROX study. Gastric Cancer. 2026 May;29(3):588-596. doi:10.1007/s10120-026-01731-0. Epub 2026 Mar 23. PMID:41870735 Clinical Trial.

2．Kotani D, Inoue E, Denda T, Inagaki C, Kashiwada T, Mihara Y, Sugaya A, Suwa Y, Ohta T, Kuramochi H, Oshima K, Yuki S, Shiozawa M, Tsuji A, Muro K, Ichikawa W, Fujii M, Sunakawa Y. Real-world outcomes of encorafenib, cetuximab ± binimetinib for BRAF-mutated metastatic colorectal cancer: the BEETS (JACCRO CC-18) study. Oncologist. 2026 Mar 9;31(4):oyag068. doi:10.1093/oncolo/oyag068. PMID:41761577

（学会・研究会発表）

1．柏田知美．多様化する胃癌薬物療法　レジメン選択からマネジメント．東京消化器癌カンファレンス2025．2025.5.30．東京

2．柏田知美．知ることから始めよう！　がん教育エンジニアリング．がん教育総合支援事業がん教育　外部講師　佐賀工業高等学校．2025.9.22．佐賀

3．柏田知美．多様する胃がん薬物療法　薬物選択からマネジメントまでスッキリ整理．大分消化器癌治療研究会．2025.9.25．大分

4．柏田知美．胃がん薬物療法2025　薬剤選択とマネジメントの最適化．和歌山胃がんオンラインセミナー．2025.10.14．和歌山

5．柏田知美．クリニカルパスを用いたリンパ浮腫リハビリテーションプログラム開発．第63回日本癌治療学会学術集会．2025.10.16-18．横浜／第25回日本クリニカルパス学会学術集会．2025.10.17-18．富山

6．佐野晴彦、勝屋弘雄、牧山純也、前田綾、中村秀明、長家聡明、福島伯泰、王丸春菜、三橋達也、藤田真衣、佐野遥菜、板村英和、岡本翔、安藤寿彦、末岡榮三郎、木村晋也．HTLV-1キャリアおよびATL患者におけるHTLV-1 cell-free DNAの予後バイオマーカーとしての有用性．第11回日本HTLV-1学会学術集会　ポスター発表．2025.11.7-9．鹿児島

7．柏田知美．大腸がん治療ガイドラインの変遷と展望～ゲノム検査に基づいた治療選択～．沖縄大腸がん治療講演会．2025.11.29．沖縄

8．柏田知美．Exercise Oncology X 大腸がん　支援療法としての運動処方の可能性．Colorectal cancer Symposium．2026.1.31．福岡

9．柏田知美．胃がん薬物療法の最適化を目指して薬剤選択とマネジメントを考える．TAIHO Web Lecture on Gastric Cancer．2026.2.27．オンライン開催

10．柏田知美．胃がん薬物療法開始前のDダイマーを用いた下肢DVTスクリーニングの意義．第98回日本胃癌学会総会．2026.3.6．沖縄

11．柏田知美．ゼロからはじめたCVポート・FOLFOX導入　多職種連携への取り組み．胃癌オプジーボwebセミナーin沖縄．2026.3.17．沖縄

糖尿病代謝内科

（学会発表）

1．中島陽美、桑原志穂、江頭絵里奈、吉村達．頭部外傷を契機とした続発性中枢性尿崩症の１例．第349回日本内科学会九州地方会．2025.5.25．宜野湾市

2．吉村達、桑原志穂、江頭絵里奈．佐賀県医療センター好生館における糖尿病医療連携の実状．第349回日本内科学会九州地方会．2025.5.25．宜野湾市

3．江頭絵里奈．Prader-Willi症候群の糖尿病へのチルゼパチドの効果と高度肥満症への影響：症例報告．第68回日本糖尿病学会年次学術集会．2025.5.29-31．岡山市

4．内田慧月、小島基靖、江頭桃子、荒木大夢、岸川まり子、山崎有菜、美奈川仁美、森仁恵、高橋宏和、安西慶三．原発性アルドステロン症とサブクリニカルCushing症候群を対側に合併した一例．第98回日本内分泌学会学術総会．2025.6.5-7．千葉市

5．徳島彩、内田慧月、江頭絵里奈、吉村達．血中カテコールアミン（CA）３分画は基準範囲内であったが、随時尿中ノルメタネフリン（NM）値か

ら診断に至った褐色細胞腫（PCC）の２症例．第350回日本内科学会九州地方会．2025.8.23．大分市

6．江頭絵里奈．初診時食行動質問票の各回答と将来の減量成否との関連についての検討．第46回日本肥満学会、第43回日本肥満症治療学会学術集会．2025.10.4-5．岡山市

7．吉村達、内田慧月、桑原志穂、朝長礼音、岸川まり子、江頭絵里奈．発症早期の糖尿病包括的評価･支援入院が血糖マネジメントには有効である．第63回日本糖尿病学会九州地方会．2025.10.31-11.1．北九州市

腎臓内科

（学会発表）

1．力久哲郎、小林雄彦、藤井真子、松本圭一郎、中村恵．腹水培養からGordonia sputi,Candida glabrateが検出された腹膜透析関連腹膜炎の一例．第70回日本透析医学会学術集会・総会．2025.6.27．大阪府

2．松岡華、福田誠、小野桃子、案浦麻梨奈、力久哲郎、橋本優香、野中枝理子、山﨑政虎、池田裕貴、吉原万貴、宮園素明．透析導入期のGNRI, PMI, YAM値と透析導入１年以内の予後の検討．第70回日本透析医学会学術集会・総会．2025.6.27．大阪府

3．井本航、藤井真子、松岡華、神林眉裕理、松本圭一郎、中村恵．悪性症候群と薬剤性横紋筋融解症との診断に苦慮した急性腎不全の一例．第55回日本腎臓学会西部学術大会．2025.10.11．奈良市

4．神林眉裕理、松岡華、藤井真子、井本航、松本圭一郎、中村恵．治療反応性不良の経過を辿り、患者教育に難渋したネフローゼ症候群の一例．第55回日本腎臓学会西部学術大会．2025.10.11．奈良市

5．松岡華、神林眉裕理、井本航、松本圭一郎、中村恵．治療介入まで時間を有したもののステロイド単独療法で腎機能改善が得られた高齢の顕微鏡的多発血管炎の１例．第55回日本腎臓学会西部学術大会．2025.10.11．奈良市

6．岡本梨奈、神邉由布、一木亜由美、野中枝理子、田中成幸、石田知也、福田誠、吉原万貴、中村恵、宮園素明．血液透析患者に発症した顔面神経麻痺を伴った悪性外耳道炎の一例．第57回九州人工透析研究会総会．2025.11.30．熊本市

7．神林眉裕理、松岡華、井本航、松本圭一郎、中村恵．MRSA腹膜炎による多発膿瘍を発症した一例．第57回九州人工透析研究会総会．2025.11.30．熊本市

8．松岡華、神林眉裕理、井本航、松本圭一郎、中村恵．長期間の血液透析より腹膜透析に移行した２症例．第57回九州人工透析研究会総会．2025.11.30．熊本市

（講演）

1．中村恵．地域で取り組むCKD．Saga Imagine Project 講演会．2025.5.15．佐賀市

2．中村恵．CKD進展抑制と高尿酸血症治療．川副アーベント．2025.5.19．佐賀市

3．井本航．CAPDカテーテルトンネル感染に対しカテーテル抜去と再挿入を行い腹膜透析を再開した２症例．長崎・佐賀　PD Exchange Seminar．2025.5.31．長崎市

4．松本圭一郎．各施設でのCKD外来における高尿酸血症治療の現状．CKDと高尿酸血症を考える会．2025.9.4．佐賀市

5．松本圭一郎．臨床でのARNIの使用経験と考察．第２回 Renal young conference．2025.9.30．佐賀市

6．松本圭一郎．新しい腹膜透析用カテーテル挿入術．第２回長崎・佐賀　PD Exchange Seminar．2025.10.4．佐賀市

7．松本圭一郎．当科におけるCKD患者の降圧治療について．高血圧治療講演会．2026.2.13．佐賀市

脳神経内科

（論文）

1．Ikeda S, Yakushiji Y, Tanaka J, Nishihara M, Ogata A, Eriguchi M, Ono S, Kosugi M, Suzuyama K, Mizoguchi M, Shichijo C, Ide T, Nagaishi Y, Ono N, Yoshikawa M, Katsuki Y, Irie H, Abe T, Koike H, Hara H. Cerebral small vessel disease markers and long-term prognosis in spontaneous intracerebral hemorrhage: the HAGAKURE-ICH study. Hypertens Res 2025;48:233-243.

2．Ide T, Goto Y, Nishihara M, Eriguchi M, Koike H. Co-occurrence of subacute combined degeneration of the spinal cord and neuromyelitis optica spectrum disorder. Acta Neurol Belg 2025;125:1149-1151.

3．Tsumura K, Inoue Y, Goto Y, Tanaka K, Tsutsumi M, Kawanami T, Hirahara R, Shichijo C, Yoshikawa M, Ono N, Ide T, Suzuyama K, Iwasaki M, Kosugi M, Eriguchi M, Goto H, Takashima H, Koike H. Characteristics of meningitis/encephalitis in adult patients with varicella-zoster virus infection: Experience from tertiary centers in Saga prefecture, Japan. J Neurol Sci 2025;475:123559.

4．Yoshikawa M, Inoue Y, Tanaka K, Tsumura K, Hoshino Y, Shichijo C, Ide T, Suzuyama K, Iwasaki M, Eriguchi M, Yukitake M, Takashima H, Koike H. Real-World Experience with FcRn Inhibitors Efgartigimod and Rozanolixizumab in Myasthenia Gravis: Administration in Multiple Cycles and Transition from Intravenous to Subcutaneous Formulation. Neurol Ther 2025.

5．Ogata A, Suzuyama K, Hirotsu T, Nakajima J, Noguchi T, Eriguchi M, Ide T, Ikeda S, Katsuki Y, Oda Y, Abe T, Hara H, Koike H, Yakushiji Y. Long-term mortality associated with incidental unruptured intracranial aneurysms in neurologically healthy Japanese adults: the Kashima scan study. Stroke Vasc Neurol 2026.

6．古賀多門、江里口誠、溝口詩乃、兼田浩平、兒玉和久、髙島洋．潜因性脳梗塞として経過観察中にplatypnea-orthodeoxia症候群と発作性心房細動が明らかになった１例．臨床神経学2026年;66巻3号:182-185

（学会発表）

1．江里口誠、髙橋哲也、鈴山耕平、井手俊宏、七條千佳、井上裕香子、田中宏弥、堀川悦夫、高守史子、永山寛、髙島洋、小池春樹．ワゴンホイール効果に対する視覚応答性と各種認知機能との連関についての検討. 第66回日本神経学会学術大会. 2025.5.22．大阪市

2．山元美保子、盛満真人、江里口誠、古賀多門、加賀駿、井戸啓介、松本健一、髙島洋．辺縁系脳炎として加療中にリング状結節病変が出現し膠芽腫の診断となった一例. 第248回日本神経学会九州地方会．2025.7.19．北九州市

3．田中宏弥、江里口誠、海野青藍、井上裕香子、山元美保子、古賀多門、盛満真人、髙島洋．小脳失調、錐体外路徴候、膀胱機能障害を主徴とした弧発性神経核内封入体病の一例. 第248回日本神経学会九州地方会．2025.7.19．北九州市

4．海野青藍、江里口誠、山元美保子、古賀多門、井上裕香子、田中宏弥、盛満真人、髙島洋．脊髄長大病変を伴った急速に進行した梅毒性脊髄炎の一例．第249回日本神経学会九州地方会（優秀演題会長推薦）．2025.12.6．佐賀市

5．井上裕香子、江里口誠、山元美保子、海野青藍、古賀多門、田中宏弥、盛満真人、髙島洋．健常者に発症したクリプトコックス髄膜炎後炎症反応症候群の一例．第250回日本神経学会九州地方会．2026.3.7．鹿児島市

6．古賀多門、江里口誠、貞島栄司、宮原強、山元美保子、海野青藍、井上裕香子、田中宏弥、盛満真人、宮下寛斎、加賀駿、井戸啓介、松本健一、大坪豊和、吉田敬規、髙島洋．第51回日本脳卒中学会学術集会．2026.3.12．大阪市

循環器内科

（論文）

1．Kakimoto Y, Yoshida K et al. Clinical Characteristics and Outcomes Stratified by Time to ST-Segment Elevation Myocardial Infarction Presentation. The American Journal of Cardiology 2025;247:57-63

2．神下耕平、吉田敬規．大腿膝窩動脈バイパス人工血管の変性を伴う急性閉塞に対して編み込み型ナイチノールステント（SUPERA stent）を留置した１例．心臓 2025;57(9):856-862

3．神下耕平、吉田敬規．浅大腿動脈に留置された自己拡張型ステントの急性閉塞に対してエキシマレーザーと血栓吸引を併用して血行再建を施行した１例．心臓 2025;57(12):1329-1336

（学会）

1．吉田敬規．Side branch salvage using excimer laser. ELCA Case Award Kyushu round. 2025.6.27．Web開催

2．西村優希．カテーテル生検にて診断し得た転移性心臓腫瘍の一例. 第138回日本循環器学会九州地方会. 2025.6.28．福岡市

3．蒲地理紗、西村優希．複合的な誘因による二次性QT延長症候群から多形性心室頻拍（TdP）および心室細動（VF）に至った一例. 第138回日本循環器学会九州地方会. 2025.6.28．福岡市

4．西村優希．大動脈弁狭窄症による難治性心不全に対して緊急TAVIを施行した一例. 第350回日本内科学会九州地方会. 2025.8.23．大分市

5．吉山満亜久、西村優希．頬部膿瘍による敗血症性肺動脈塞栓症を発症した一例．第350回日本内科学会九州地方会．2025.8.23．大分市
6．吉田敬規．Side branch salvage using excimer laser. ELCA Case Award Final round. 2025.8.26. E-case book（web開催）
7．柿本洋介．Clinical outcomes after stent thrombosis in patients with hemodialysis : from the Real-ST registry. ESC Congress 2025. 2025.8.30. マドリード（スペイン）
8．神下耕平．浅大腿動脈の高度石灰化病変に対するEVT中にバルーンカテーテルがデフレートされず離断した１例．第39回CVIT九州・沖縄地方会．2025.9.5．鹿児島市
9．安心院法樹．特発性冠動脈解離を来した若年男性の一例．第39回CVIT九州・沖縄地方会．2025.9.5．鹿児島市
10．吉田敬規．ELCAの使用経験．第39回CVIT九州・沖縄地方会．2025.9.6．鹿児島市
11．吉田敬規．Onyx-Frontier stent．第39回CVIT九州・沖縄地方会．2025.9.6．鹿児島市
12．西村優希．急性下肢動脈閉塞（カテゴリーⅡb）に対して緊急でエキシマレーザーを用いた血管内治療を行い救肢した一例．第39回CVIT九州・沖縄地方会．2025.9.6．鹿児島市
13．吉田敬規．症例提示（若手医師への教育セッション）．ARIA2025．2025.11.22．福岡市
14．吉田敬規．前下行枝起始部からびまん性亜閉塞病変による若年急性冠症候群患者に対してエキシマレーザーが有効であった症例．第40回CVIT九州・沖縄地方会．2025.12.6．福岡市
15．樋口美祈、安心院法樹．重症３枝病変の虚血性心筋症に対して施行したCABGで人工心肺からの離脱に苦慮した一例．第40回CVIT九州・沖縄地方会．2025.12.6．福岡市

緩和ケア科

（論文・著書）

1．Keiko Mamiya, Toshifumi Kosugi, et al. Consensus statement on chronic pain treatment in cancer survivors. Journal of Anesthesia；Vol.39：161–181
2．Miyuki Sone, Toshifumi Kosugi, et al. Current implementation and perception of palliative interventional radiology procedures for patients with refractory cancer pain among interventional radiologists in Japan: a nationwide survey. Japanese Journal of Radiology, https://doi.org/10.1007/s11604-026-01961-3 , Published online 03 Mar 2026
3．久保麻悠子、小杉寿文．硬膜外鎮痛・くも膜下鎮痛でのレスキュー選択．『緩和ケア』Vol.35 No.3
4．小杉寿文、山田信一．難治性がん疼痛に対する神経ブロック療法の技術協力と教育・九州での取り組み―九州ペインクリニック技術援助会（SPGs）．『ペインクリニック』46巻臨時増刊号 S77–S84
5．小西亜佐子、石井博修、小杉寿文．〈フロントライン緩和ケア〉せん妄の緩和ケア―痛みとの合併と身の置き所のなさ～痛みの再評価と鎮痛方法の見直しをする．2025，青海社
6．小杉寿文．アルコール不耐症の患者におけるアルコールブロックの適用－私はこうしている．ペインクリニック．2026.3；Vol.47, No3：332-334

（学会発表）

1．T.Kosugi, Y.Komatsu, M.Kubo. NEW INDICATIONS ? UNPAIRED GANGLION BLOCK PROVIDES ANALGESIA FOR CANCER AND TRAUMATIC PAIN OF THE PUBIC, SCIATIC, AND ACETABULAR BONES, A CASE SERIES. 14Th Congress of Europian Pain Federation EFIC, 24*26 April 2025: Lyon, France
2．小杉寿文．がんサバイバーの慢性痛を考える～がんサバイバーの慢性痛に対するインターベンショナル治療～．第72回日本麻酔科学会 WS08. 2025.6.6．神戸市
3．安藤満代、明智龍男、小杉寿文ら．ライフレビューAIアプリによる進行がん患者への精神的心理的支援の可能性．第30回日本緩和医療学会学術大会．2025.7.4．福岡市
4．小杉寿文．私ならこうする！「がんサバイバー強オピオイド使用のポイント」～神経ブロックを併用して強オピオイドの減量を試みる～．日本ペインクリニック学会 第59回学術集会．2025.7.11．東京都
5．小杉寿文、久保麻悠子、小松祐也、杉部清佳、田代拓．直腸癌神経浸潤による神経障害性疼痛に対する超音波ガイド下仙骨神経根ブロック日本ペインクリニック学会．第59回学術集会．2025.7.12．東京都
6．田代卓、小杉寿文、平松志帆、永石雄基、久保麻悠子．脊髄筋萎縮症患者の大腿骨幹部骨折の術

後鎮痛に持続仙骨硬膜外麻酔が有用であった１例．日本ペインクリニック学会 第59回学術集会．2025.7.12．東京都
７．副島明子、中島亜紀子、小杉寿文．“こだわり”に寄り添い“その人らしさ”を支えた看護実践～終末期がん患者の最期を共に考える～．第48回 日本死の臨床研究会 年次大会．2025.11.1．盛岡市
８．小杉寿文．がんサバイバーの慢性疼痛について考える．日本緩和医療学会九州支部学術集会．2025.11.19．熊本市
９．小杉寿文．くも膜下鎮痛法と鎮静．日本臨床麻酔学会第45回大会．2025.12.6．名古屋市
10．小杉寿文、久保麻悠子、田代拓、池田智子．高齢終末期患者の下肢虚血性疼痛に対する持続坐骨神経ブロック．第６回日本ペインクリニック学会九州支部学術集会．2026.2.7．佐賀市
11．久保麻悠子、小杉寿文、池田智子．臍部の術後難治性疼痛に対して肋間神経ブロックが有効であった一症例．第６回日本ペインクリニック学会九州支部学術集会．2026.2.7．佐賀市

（講義）

１．小杉寿文．終末期の症状緩和．佐賀県看護協会訪問看護ステーション研修会．2025.10.25
２．小杉寿文．終末期の症状緩和、疼痛．久留米大学認定看護師教育センター．2025.9-10

呼吸器外科

（学会発表）

１．武田雄二、宮本詩子、重村弘．大腸癌肺転移．第44回佐賀外科治療フォーラム．2025.7.5．佐賀
２．武田雄二、宮本詩子、重村弘．手術に伴い発症した口蓋垂炎の一例. 第58回胸部外科九州地方会．2025.7.24-25．福岡
３．宮本詩子、重村弘、武田雄二．当館における胸部外傷に対する観血的肋骨固定術の検討と失敗を踏まえての治療方針．第78回日本胸部外科学会定期学術集会．2025.10.23-25．大阪
４．宮本詩子、武田雄二．病理学的診断に苦慮した原発性肺癌と卵巣癌の重複癌の一例．第65回日本肺癌学会学術集会．2025.10.31-11.2．横浜
５．宮本詩子、武田雄二、重村弘、梅口仁美、久保田未央、増田正憲、森大輔．肺癌成分と扁平上皮癌成分が混在した気管支軟骨肉腫の一例．第66回日本肺癌学会学術集会．2025.11.6-8．東京
６．武田雄二、内藤光三、甘利香織、福井直子、江副直子、佐藤裕美、徳島香奈．多職種・部署横断的に開催したM&Mカンファレンスについて～開催の経験と今後の課題～．第22回日本医療マネジメント学会九州・山口連合．2025.11.28-29．大分
７．重村弘、宮本詩子、武田雄二．横隔膜上結節生検後に医原性横隔膜ヘルニアに至った１例．第48回肺癌学会九州支部学術集会．2026.2.13-14．久留米

（講演）

１．武田雄二．呼吸器・肺がん診療　～医療安全担当の目線から～．筑後ブロック肺がん検診従事者講習会・第387回 筑後地区胸部疾患懇話会．2025.6.27．久留米

消化器外科

（論文・著書）

１．Matsui H, Ikenaga N, Nakamura M, Tatsuguchi T, Kozono S, Okabe H, Hayashi H, Adachi T, Eguchi S, Hashimoto K, Hisaka T, Ide T, Noshiro H, Hirashita T, Miyoshi A, Nanashima A, Kajiwara M, Yoshizumi T, Mori Y, Nagano H, Kyushu Study Group of Treatment for Pancreatobilliary Cancer. Outcomes of resected cases of pancreatic ductal adenocarcinoma patients with unexpected postoperative uncovering noncurative factors: A Multicenter Retrospective Study. Ann Gastroenterol Surg. 2025;10:251-262
２．Ito K, Ide T, Tanaka T, Noshiro H. A novel three-dimensional stereoscopic navigation System for laparoscopic anatomical liver resection. Cureus. 2025;17(4):e82214
３．三好篤、木須絵理、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也．地方市中病院における外科医の働き方改革の取り組みと問題．日本外科学会雑誌．2026；第127巻第1号：111-113、ロボット支援下の胃切除後再建術．消化器外科．2024；47巻11号：1317-1327
４．Motoaki Yuhi, Masatsugu Hiraki, Shin Takesue, Mariko Hashiguchi, Megumi Nishiyama, Yoshiaki Egashira, Tatsuya Manabe, Hirokazu Noshiro　Submucosal colonic fecalith mimicking a submucosal malignant tumor at the anastomotic site after colon cancer: A case report EXPERIMENTAL AND THERAPEUTIC MED-

ICINE. 2026;31:65

5．由比元顕、平木将紹、武居晋、真鍋達也、能城浩和．ロボット支援下直腸切断術後の会陰ヘルニア修復術後に発症した続発性子宮広間膜裂孔ヘルニアに対し腹腔鏡下にメッシュを用いてヘルニア修復術を行った１例．日本内視鏡外科学会雑誌．2025;30:102-106

（学会発表）

1．池田貯、鶴安浩、重冨桂二郎、今村美乃莉、松浦洋、北川浩、伊藤孝太朗、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也．低侵襲外科時代における脾温存脾門部リンパ節郭清のRationaleとProcedural tips．第97回日本胃癌学会総会（ビデオパネルディスカッション）．2025.3.14．名古屋

2．三好篤、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也．地方市中病院における外科医の働き方改革の取り組みと問題．第125回日本外科学会定期学術集会．2025.4.10-12．仙台

3．伊藤孝太朗、古賀浩木、三好篤．Surgical Techniques and Short-Term Outcomes in the Introduction of Robot-Assisted Hepatectomy．第37回日本肝胆膵外科学会学術集会．2025.6.12-13．長野

4．古賀浩木、伊藤孝太朗、三好篤．A study of laparoscopic repeat hepatectomy for hepatocellular carcinoma．第37回日本肝胆膵外科学会学術集会．2025.6.12-13．長野

5．古賀靖大、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、浦田雅子、伊藤孝太朗、古賀浩木、池田貯、三好篤、田中聡也．外科医減少時代におけるロボット支援手術の役割　少人数で行うロボット支援大腸癌手術のコツ．佐賀サージカルフォーラム．2025.6.18．佐賀

6．三好篤、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木．古賀靖大、池田貯．大腸癌肝転移治療の現状．佐賀外科治療フォーラム．2025.7.5．佐賀

7．伊藤孝太朗、古賀浩木、三好篤．Surgical Techniques and Short-Term Outcomes in the Introduction of Robot-Assisted Hepatectomy．第80回日本消化器外科学術総会．2025.7.16-18．神戸

8．古賀浩木、伊藤孝太朗、三好篤．当院における肝内胆管癌に対する腹腔鏡下手術の検討．第80回日本消化器外科学術総会．2025.7.16-18．神戸

9．池田貯、鶴安浩、今村美乃莉、松浦浩、北川浩、伊藤孝太朗、古賀浩木、古賀靖大、三好篤、田中聡也．ロボット胃切除後Billroth II法再建を再考する～ロボット支援下胃切除後再建における有用性と手技の工夫～．第80回日本消化器外科学会総会　要望演題ビデオ４．2025.7.17．神戸

10．池田貯、浦田雅子、松藤祥平、木須絵理、由比元顕、伊藤孝太朗、古賀浩木、古賀靖大、三好篤．ロボット胃癌手術における脾温存脾門部リンパ節郭清の術野展開と手技の工夫．第35回九州内視鏡・ロボット手術研究会．2025.8.30．福岡

11．池田貯、浦田雅子、松藤祥平、木須絵理、由比元顕、伊藤孝太朗、古賀浩木、古賀靖大、三好篤．若者のマインドセット変化に対応したリクルート戦略と外科教育．第87回日本臨床外科学会学術集会　学術集会特別企画 7　外科医不足を乗り越えるために「心」－外科医としての使命感や魅力を次世代に伝える教育・キャリア支援策．2025.11.20．東京

12．三好篤、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也．働き方改革と若手外科医育成の両立．第87回日本臨床外科学会学術集会．2025.11.20-22．東京

13．松藤祥平、池田貯、浦田雅子、木須絵理、由比元顕、伊藤孝太朗、古賀浩木、古賀靖大、三好篤．胃上部癌に対する腹腔鏡・ロボット支援下胃亜全摘術と噴門側切除のQOLおよび治療成績の比較検討．第38回日本内視鏡外科学会総会．2025.12.11-13．横浜

14．古賀靖大、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、浦田雅子、伊藤孝太朗、古賀浩木、池田貯、三好篤、田中聡也．ロボット支援大腸癌手術におけるコストと人時生産性．第38回日本内視鏡外科学会総会．2025.12.11-13．横浜

15．池田貯、浦田雅子、松藤祥平、木須絵理、由比元顕、伊藤孝太朗、古賀浩木、古賀靖大、三好篤．Solo-surgeryで行うロボット胃癌手術はラパロを凌駕する～欠点を利点に変える発想の転換と手技の工夫～．第38回日本内視鏡外科学会総会　パネルディスカッション．2025.12.13．横浜

16．伊藤孝太朗、古賀浩木、三好篤．肝部分切除におけるロボット支援/腹腔鏡下手術の手術成績．第46回九州肝臓外科研究会学術集会．2026.1.24．福岡

17．佐々木俊介、古賀浩木、木須絵理、伊藤孝太朗、三好篤．胆管ステント留置に伴う右肝臓脈仮性動

脈瘤からの胆道出血に対して血管内ステント留置を施行した一例．第46回九州肝臓外科研究会学術集会．2026.1.24．福岡

18．池田貯、浦田雅子、松藤祥平、木須絵理、由比元顕、伊藤孝太朗、古賀浩木、古賀靖大、三好篤．脾温存で攻める上部進行胃癌手術：ロボット支援下脾温存脾門郭清の実践　～ICI時代における免疫臓器温存と根治性の追求～．第98回日本胃癌学会総会　シンポジウム１．2026.3.5．沖縄

（講演）

１．池田貯．Billroth II法を再考する．ジョンソン・エンド・ジョンソン社内講演会．2025.4.21

２．池田貯．科研製薬外部講師社内講演会．2025.5.21．佐賀

３．三好篤．知っておきたい肝臓の外科治療～体に優しい最新の手術～．第15回佐賀県医師会県民はつらつ公開セミナー．2025.10.18．佐賀

（座長・司会）

１．池田貯．筑後RASセミナー　司会．2025.8.22．久留米

２．池田貯．スポンサードシンポジウム司会．第35回 九州内視鏡・ロボット手術研究会．2025.8.30．福岡

３．三好篤．一般演題７　「腹部・上部①」．第17回日本Acute Care Surgery学会学術集会 2025.9.20 佐賀

４．池田貯．特別講演①司会．佐賀県消化器癌懇話会．2025.10.24．佐賀

５．三好篤．重要演題（専攻医セッション）「脾臓とその他」．第87回日本臨床外科学会学術集会．2025.11.21．東京

６．池田貯．ミニオーラルMO 司会．第38回 日本内視鏡外科学会総会．2025.12.11．横浜

７．三好篤．一般演題２．第46回九州肝臓外科研究会．2026.1.24．福岡

肝臓・胆のう・膵臓外科

（学術論文）

１．Matsui H, Ikenaga N, Nakamura M, Tatsuguchi T, Kozono S, Okabe H, Hayashi H, Adachi T, Eguchi S, Hashimoto K, Hisaka T, Ide T, Noshiro H, Hirashita T, Miyoshi A, Nanashima A, Kajiwara M, Yoshizumi T, Mori Y, Nagano H, Kyushu Study Group of Treatment for Pancreatobilliary Cancer. Outcomes of resected cases of pancreatic ductal adenocarcinoma patients with unexpected postoperative uncovering noncurative factors: A Multicenter Retrospective Study. Ann Gastroenterol Surg. 2025;10:251-262

２．Ito K, Ide T, Tanaka T, Noshiro H. A novel three-dimensional stereoscopic navigation system for laparoscopi anatomical liver resection. Cureus. 2025;17(4):e82214

３．三好篤、木須絵理、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也．地方市中病院における外科医の働き方改革の取り組みと問題．日本外科学会雑誌．2026;第127巻第１号:111-113

（学会発表・講演等）

１．三好篤、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也．地方市中病院における外科医の働き方改革の取り組みと問題．第125回日本外科学会定期学術集会．2025.4.10-12．仙台

２．伊藤孝太朗、古賀浩木、三好篤．Surgical Techniques and Short-Term Outcomes in the Introduction of Robot-Assisted Hepatectomy．第37回日本肝胆膵外科学会学術集会．2025.6.12-13．長野(軽井沢)

３．古賀浩木、伊藤孝太朗、三好篤．A study of laparoscopic repeat hepatectomy for hepatocellular carcinoma．第37回日本肝胆膵外科学会学術集会．2025.6.12-13．長野(軽井沢)

４．三好篤、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木、古賀靖大、池田貯．大腸癌肝転移治療の現状．佐賀外科治療フォーラム．2025.7.5．佐賀

５．伊藤孝太朗、古賀浩木、三好篤．Surgical Techniques and Short-Term Outcomes in the Introduction of Robot-Assisted Hepatectomy．第80回日本消化器外科学術総会．2025.7.16-18．神戸

６．古賀浩木、伊藤孝太朗、三好篤．当院における肝内胆管癌に対する腹腔鏡下手術の検討．第80回日本消化器外科学術総会．2025.7.16-18．神戸

７．三好篤、木須絵里、由比元顕、松藤祥平、伊藤孝太朗、浦田雅子、古賀浩木、古賀靖大、池田貯、田中聡也．働き方改革と若手外科医育成の両立．第87回日本臨床外科学会学術集会．2025.11.20-22．東京

8．伊藤孝太朗、古賀浩木、三好篤．肝部分切除におけるロボット支援/腹腔鏡下手術の手術成績．第46回九州肝臓外科研究会学術集会．2026.1.24．福岡
9．佐々木俊介、古賀浩木、木須絵理、伊藤孝太朗、三好篤．胆管ステント留置に伴う右肝臓脈仮性動脈瘤からの胆道出血に対して血管内ステント留置を施行した一例．第46回九州肝臓外科研究会学術集会．2026.1.24．福岡

（講演）

1．三好篤．知っておきたい肝臓の外科治療～体に優しい最新の手術～．第15回佐賀県医師会県民はつらつ公開セミナー．2025.10.18．佐賀

（メディア出演）

1．伊藤孝太朗、三好篤、稲富千佳、吉岡航．サガせ！健康の鍵～知っておきたい肝臓のこと～．佐賀テレビ．2026.1.31

小児外科

（論文）

1．亀井一輝、山内健、中林和庸、田口匠平．腎損傷. 小児外科．2025;vol.57(2):205-207
2．山内健、亀井一輝、田口匠平．栄養投与経路確立に向けて小児外科医の果たす役割．臨床栄養．2025;Vol.147(4)臨時増刊号:440-444
3．山内健、亀井一輝．脂肪乳剤投与時の細径カテーテル閉塞防止のための工夫－5%ブドウ糖液サンドイッチ法－．Medical Nutritionist of PEN Leaders．2025;Vol.9(2):122-124
4．亀井一輝、田口匠平、山内健．シートベルトによる小児外傷性盲腸穿孔の１例．日小外会誌．2025;Vo.61(7):1-4
5．山内健、亀井一輝、田口匠平 他．重症心身障害児者における胃瘻造設の現状－第52回九州小児外科研究会アンケートから－．日小外会誌. In press

（学会発表）

1．亀井一輝、田口匠平、山内健．当院における肛門周囲膿瘍に対する漢方治療の検討．第99回佐賀小児科地方会．2025.4.13．佐賀
2．亀井一輝、田口匠平、山内健．当科における小児鈍的腹部外傷症例の検討．第62回日本小児外科学会学術集会．2025.6.5-7．東京
3．堀之内梨恵、牛島圭太、小根森智子、山本美紗子、山内健．膵切除術における術前経口保水療法の安全性と有効性．第29回佐賀NST研究会．2025.6.28．佐賀
4．亀井一輝、山内健．当科における胃瘻造設術と術後栄養管理に関する検討．第29回佐賀NST研究会．2025.6.28．佐賀
5．小川夏海、小根森智子、山内健、亀井一輝．胃瘻造設術後早期からのミキサー食注入と家族への食事指導の取り組み．日本栄養治療学会九州支部第16回支部学術集会．2025.7.5．鹿児島
6．亀井一輝、山内健．段階的にSantulli式ストーマ造設を行ったhypoganglionosisの１例．第54回九州小児外科研究会．2025.8.23．福岡
7．山内健、亀井一輝．重症心身障害児者における胃瘻造設術と術後栄養管理に関する検討．第18回静脈経腸栄養管理指導者協議会．2025.10.4-5．芦屋
8．山内健、亀井一輝．長期HPN中の１例における脂質代謝に関する検討．第54回 日本小児外科代謝研究会．2025.10.30．大阪
9．亀井一輝、山内健．可変スライド式イントロデューサーを用いたPEG、腹腔鏡補助下PEGによるボタン型胃瘻の造設．第54回日本小児外科代謝研究会．2025.10.30．大阪
10．春野覚史、亀井一輝、山内健．急性穿孔性虫垂炎から術後５年で腹腔内ドレナージを行った腹腔内膿瘍の１例．第101回佐賀小児科地方会．2025.12.13．佐賀
11．春野覚史、亀井一輝、山内健．急性穿孔性虫垂炎術後遠隔期に腹腔内膿瘍が発生した１例．第62回九州小児外科学会．2026.3.6-7．小倉
12．山内健、春野覚史．ヒルシュスプルング病類縁疾患の１例における長期HPNの合併症を避けるための工夫について．第50回九州代謝・栄養研究会．2026.3.14．久留米

（講演）

1．山内健．教育講演　今一度、栄養スクリーニングを考える．第29回佐賀NST研究会．2025.6.28．佐賀

心臓血管外科

（論文）

1．森桃子、甘利香織、藤田尚宏、伊藤孝太朗、里学、安座間真也、岸川浩尚．心窩部痛を主訴にWalk-

in 受診したSAMの１例．佐賀医師会報．2025;1:13-16

２．Kota Mitsui, Yunosuke Nishihara, Norisato Tuda, Manabu Sato. Hemodynamic subtype classification of type II endoleaks using time-enhanced curves and its association with aneurysmal enlargement. JVS-Vascular Science 2025.

３．Jun Osaki, Junji Yunoki, Nagi Hayashi, Kouki Jinnouchi, Hiroyuki Morokuma, Manabu Itoh, Keiji Kamohara, Chimney thoracic endovascular aortic repair for traumatic aortic dissection with visceral malperfusion. J Vasc Surg Cases Innov Tech 2025;11:101660.

４．永島聖恭、里学、三保貴裕、牛草淳．孤立性上腸間膜動脈解離の治療戦略．日血外会誌．2025;34:247-253

（学会発表）

１．大崎隼、里学、三保貴裕．急性B型大動脈解離，偽腔破裂に対する緊急TEVAR後のType 1b endoleakに対して下行大動脈バンディングと偽腔内トロンビン注入が有効であった１例．第33回日本大動脈外科研究会．2025.4.11．仙台

２．三保貴裕、大崎隼、里学．内腸骨動脈瘤を有する症例に対し内腸骨動脈塞栓術+人工血管置換術を施行した２例．第53回 日本血管外科学会学術総会．2025.5.21．北九州

３．永島聖恭ほか．保存的加療を選択した急性A型大動脈解離の転帰．第53回 日本血管外科学会学術総会．2025.5.22．北九州

４．三保貴裕、大崎隼、里学．大腿深動脈瘤に対し術中塞栓術を併用し、手術を施行した１例．第53回 日本血管外科学会学術総会．2025.5.23．北九州

５．田中謙信、里学、三保貴裕、大崎隼、永島聖恭、柚木純二．Iliac Branch Endoprosthesis（IBE）を用いて片側内腸骨動脈を再建した両側総腸骨動脈瘤・内腸骨動脈瘤の１例．第138回日本循環器学会九州地方会．2025.6.28．福岡市

６．内藤光三、武田雄二、福井直子、徳島香奈．急性期病院における医療の安全確保と質改善活動について．第27回 日本医療マネジメント学会学術総会．2025.7.18．仙台

７．大崎隼、里学、三保貴裕、永島聖恭．大伏在静脈による右冠動脈置換を施行した右冠動脈瘤・冠動静脈瘻の１例 第58回日本胸部外科学会九州地方会総会．2025.7.24．福岡市

８．永島聖恭、里学、三保貴裕、大崎隼．難治性Perigraft seroma－皮膚瘻に対して上行大動脈再置換術を施行した１例．第58回日本胸部外科学会九州地方会総会．2025.7.25．福岡市

９．大崎隼、里学、三保貴裕、永島聖恭．地方公立病院におけるImpella使用症例の早期成績と今後の課題．第78回日本胸部外科学会定期学術集会．2025.10.23．京都市

10．内藤光三、武田雄二、福井直子、江副直子、佐藤裕美、菊池智美、甘利香織．臨床研修医からのインシデントレポートの検討．第20回 医療の質・安全学会学術集会．2025.11.9．京都市

11．大崎隼、里学、三保貴裕．僧帽弁置換術後に診断された野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスの１例．第139回日本循環器学会九州地方会．2025.12.6．福岡市

12．大崎隼、里学、三保貴裕．僧帽弁置換術後に診断された野生型トランスサイレチン心アミロイドーシスの１例．第139回日本循環器学会九州地方会．2025.12.6．福岡市

13．大崎隼、里学、三保貴裕．Diagnostic Pitfalls: Experience with Two Cases of Tuberculous Aortic Aneurysms Secondary to Intravesical BCG Therapy．2026.3.22．第90回日本循環器学会学術集会．福岡市

（講演）

１．内藤光三、今池彰．受審病院体験談 ～病院機能評価受審の準備と実際～．病院機能改善セミナー．2025.8.1．福岡

２．里学．ハートセンターでの最新治療．令和７年度佐賀県医療センター好生館 地域医療連携懇談会．2025.10.10．佐賀

３．内藤光三．患者安全確保のための医科歯科連携．佐賀市歯科医師会勉強会．2025.11.6．佐賀

脳神経外科

（講演、学会発表その他）

１．加賀駿、宮下寛斉、井戸啓介、松本健一．治療に難渋したvasospasmの１例．第18回九州脳血管内治療勉強会．2025.5.31．福岡

２．宮下寛斉、加賀駿、井戸啓介、松本健一．左症候性前大脳動脈A3閉塞に対して、右STA-左ACAバイパスが奏功した一例．第150回日本脳神経外科学会九州支部会．2025.10.11．沖縄

３．加賀駿、宮下寛斉、井戸啓介、松本健一．当

院で経験した右頭頂葉転移性脳腫瘍の一例．九州大学脳神経外科連携の会　手術手技セミナー．2025.10.18．福岡

4．加賀駿、井戸啓介、貞嶋栄司、宮下寛斉、山元美保子、海野青藍、古賀多門、井上裕香子、盛光真人、田中宏弥、江里口誠、上床武史、溝上泰一朗、松本健一、髙島洋．当院における透析患者に対する機械的血栓回収療法の検討．日本脳神経外科学会第84回学術総会．2025.10.29．横浜

5．宮下寛斉、井戸啓介、加賀駿、貞嶋栄司、山元美保子、海野青藍、古賀多門、井上裕香子、田中宏弥、盛満真人、江里口誠、上床武史、溝上泰一朗、松本健一、髙島洋．当院における担癌患者に対する血栓回収術の治療成績．日本脳神経外科学会第84回学術総会．2025.10.29-11.1．横浜

6．井戸啓介、加賀駿、宮下寛斉、松本健一．佐賀地域中核病院における脳血管内治療専門医１名施設での血栓回収療法の現状．日本脳神経外科学会第84回学術集会．2025.10.31．横浜

7．加賀駿、宮下寛斉、井戸啓介、松本健一．治療に難渋したcerebral vasospasmの一例．第41回日本脳神経血管内治療学会学術集会　2025.11.12-15．大阪

8．宮下寛斉、井戸啓介、加賀駿、貞嶋栄司、山元美保子、海野青藍、古賀多門、井上裕香子、田中宏弥、盛満真人、江里口誠、上床武史、溝上泰一朗、松本健一、髙島洋．当院における担癌患者に対する血栓回収術の治療成績．第41回日本脳神経血管内治療学会学術総会．2025.11.12-15．大阪

9．井戸啓介．確実な血栓回収のためにたわみを理解する．JSNET 2025．2025.11.14．大阪

10．宮下寛斎、加賀駿、井戸啓介、松本健一．鋏による穿通外傷の一例. 第49回日本脳神経外傷学会．2026.2.20．名古屋

整形外科

（論文）

1．佐々木貴之、塚本伸章、酒井鴻、田代勇人、小川宗一郎、木村太一、平林健一、松下優、馬場覚、小宮紀宏、林田光正、前隆男．当院における外傷性股関節脱臼に伴う寛骨臼後壁骨折の治療成績．整形外科と災害外科（0037-1033）．2025.3；74巻1号：92-95

2．Kimura T, Baba S, Hayashida M, Mae T. Posterior Spinal Fixation Using a Patient-Specific 3D-Printed Guide for a Sixth Thoracic Vertebral Fracture With Ankylosis and Severe Bone Sclerosis Due to Spondyloepiphyseal Dysplasia Congenita. Cureus. 2025 May 1;17(5):e83329. doi

3．小川宗一郎、松下優、津村麗美、大屋慶知、佐々木貴之、有薗奨、加峯亮佑、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正、前隆男．小児膝蓋骨Sleeve骨折の２例．整形外科と災害外科（0037-1033）．2025.9;74巻4号：742-744

4．津村麗美、塚本伸章、大屋慶知、徳永真一、小川宗一郎、有薗奨、加峯亮佑、馬場覚、松下優、小宮紀宏、林田光正、前隆男．良好な骨癒合を得た若年の大腿骨頸部骨折２例の治療経験．整形外科と災害外科（0037-1033）．2025.9；74巻4号：810-812

5．大屋慶知、松下優、津村麗美、徳永真一、小川宗一郎、有薗奨、加峯亮佑、馬場覚、小宮紀宏、塚本伸章、林田光正、前隆男．小児の橈骨遠位端骨折にVA-LCPプレートを用いた５例．整形外科と災害外科(0037-1033)．2025.9;74巻4号：886-888

6．酒井鴻、塚本伸章、佐々木貴之、小川宗一郎、田代勇人、木村太一、馬場覚、平林健一、松下優、小宮紀宏、林田光正、前隆男．当院におけるGustilo Type3の下肢長管骨開放骨折の治療成績．整形外科と災害外科（0037-1033）．2025.9；74巻4号：938-941

7．酒井鴻、塚本伸章、佐々木貴之、小川宗一郎、田代勇人、木村太一、馬場覚、平林健一、松下優、小宮紀宏、林田光正、前隆男．上腕骨開放骨折の治療成績．整形外科と災害外科（0037-1033）．2025.9;74巻4号：958-961

（学会発表）

1．林田光正.（座長）．頚椎症性神経根症を考える－診断と治療戦略－．2025.2.5．佐賀市

2．徳永真一．若年者に生じた軽微な外傷に伴う前腕コンパートメント症候群の１例．第51回佐賀骨折治療研究会．2025.3.1．嬉野市

3．津村麗美．一時的創外固定治療を行った踵骨関節内骨折の１例．第51回佐賀骨折治療研究会．2025.3.1．嬉野市

4．有薗奨、馬場覚、林田光正．Trends in Patients with Cervical Spinal Cord Injury and Factors Hindering Return to Home．第54回日本脊椎脊髄病学会学術集会．2025.4.19．千葉市

5．塚本伸章、前隆男、林田光正．75歳以上の高齢外傷患者における下肢一時的創外固定の有効性と問題点．第39回日本外傷学会総会・学術集会．

2025.5.16. 東京都
6．前隆男. 骨盤骨折(座長). 第98回日本整形外科学会学術集会. 2025.5.24. 東京
7．德永真一. 軽微な外傷を契機に発症した前腕コンパートメント症候群の一例. 第149回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2025.6.8. 久留米市
8．Sho Arizono, Satoshi Baba, Mitsumasa Hayashida. Trends in Patients with Cervical Spinal Cord Injury and Factors Hindering Return to Home. 14TH COMBINED MEETING OF THE APSS & THE APPOS. 2025.6.20. KUALA LUMPUR, MALAYSIA
9．野中祥太朗. 掌側Barton・chauffeur合併骨折の１例. 第53回佐賀県骨折治療研究会. 2025.7.19. 唐津市
10. Kazuki Kitade, Kazu Kobayakawa, Hirokazu Saiwai, Kazuya Yokota, Kenichi Kawaguchi, Kiyoshi Tarukado, Gentaro Ono, Jun Kishikawa, Takeshi Maeda, Yasuharu Nakashima. Reduced neuroinflammation via astrocytes and neutrophils promotes regeneration after spinal cord injury in neonatal mice. 45th SICOT Orthopaedic World Congress. 2025.9.4. Madrid, Spain
11. 北出一季、小早川和、幸博和、横田和也、小野玄太郎、岸川準、前田健、中島康晴. 時空間統合オミクス解析を用いた幼若脊髄再生アトラスの開発. 第40回日本整形外科学会基礎学術集会. 2025.10.16. 青森
12. 北出一季、小早川和、幸博和、横田和也、小野玄太郎、前田健、中島康晴. 時空間統合オミクス解析を用いた幼若脊髄再生アトラスの開発. 第60回日本脊髄障害医学会. 2025.11.14. 東京
13. 德永真一、松下優、山本俊士郎、津村麗美、飯田倫太郎、野中祥太朗、今井稜、加峯亮佑、馬場覚、塚本伸章、林田光正、前隆男. 大腿骨講演転子部骨折術後の偽関節に対する治療経験. 第150回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2025.11.15. 宮崎
14. 德永真一、塚本伸章、山本俊士郎、飯田倫太郎、津村麗美、野中祥太朗、今井稜、加峯亮佑、馬場覚、松下優、林田光正、前隆男. 皮弁を要する皮膚軟部欠損を伴う足関節開放骨折の１例. 第12回九州重度四肢外傷セミナー. 2025.11.15. 宮崎
15. 野中祥太朗、松下優、山本俊士郎、津村麗美、飯田倫太郎、德永真一、今井稜、加峯亮佑、馬場覚、塚本伸章、林田光正、前隆男. TKA術後患者にVirtual Reality技術（mediVRカグラ）を用いたリハビリテーション効果の検討. 第150回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2025.11.15. 宮崎
16. 山本俊士郎、馬場覚、林田光正、飯田倫太郎、德永真一、野中祥太朗、今井稜、加峯亮佑、松下優、塚本伸章、前隆男. 両上下肢神経症状を続発した非外傷性急性頚部痛症例の検討. 第150回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2025.11.15. 宮崎
17. 津村麗美、前隆男、松下優、山本俊士郎、津村麗美、飯田倫太郎、野中祥太朗、今井稜、加峯亮佑、馬場覚、塚本伸章、林田光正. 当院の骨粗鬆症治療における介入と治療成績：治療薬カテゴリー別の継続率と骨密度変化. 第150回西日本整形・災害外科学会学術集会. 2025.11.16. 宮崎

（講演）

1．前隆男. 寛骨臼骨折　初期対応からサルベージ手術まで. 佐賀県整形外科セミナー. 2025.4.5. 佐賀
2．馬場覚. DISHを伴ったAO Type B3の胸椎椎体骨折に対し、fenestrated screwを使用し側臥位で固定した症例の問題点と当科の試み. Fenestrated Screw Users Meeting in 九州. 2025.5.10. 福岡市
3．加峯亮佑.『知っておきたい肩の話』～肩関節のしくみと肩の痛みの原因～. 佐賀県鍼灸マッサージ師会令和７年度生涯研修会. 2025.8.24. 佐賀市
4．前隆男. 骨折の基本. 佐賀女子高校看護科. 2025.9.2. 佐賀市
5．前隆男. 骨粗しょう症その他. 佐賀女子高校看護科. 2025.9.9. 佐賀市
6．前隆男. 変形性関節症。脊椎疾患その他. 佐賀女子高校看護科. 2025.9.16. 佐賀市
7．馬場覚. 注意すべき骨粗鬆症性椎体骨折. 佐賀県臨床整形外科医会. 2025.9.17. 佐賀市
8．林田光正. 側弯症の治療. 佐賀県臨床整形外科医会. 2025.9.17. 佐賀市
9．林田光正. ロコモを学ぼう－いつまでも元気に歩いて働くために－. 骨と関節の日　佐賀県整形外科イベント. 2025.10.4. 佐賀市
10. 前隆男. 骨粗鬆症治療における多職種連携がもたらすもの. 好生館骨粗しょう症研修会. 2025.11.11. 佐賀市
11. 林田光正. 佐賀県における好生館脊椎外科の現状とすすむべき未来. 第14回KOS研究会. 2025.11.28. 大分市

精神科

（論文）

1．角南隆史、杠岳文．物質依存の診断．診断と治療．2025;113(12):1369-1373
2．角南隆史．BIをオンラインで～SNAPPYプログラム～．日本アルコール関連問題学会雑誌．2025;26(2):20-25
3．宋龍平、角南隆史．アルコール依存症・離脱―内科病棟における問題と管理，退院前にできること．Hospitalist．2025;12(4):661-675
4．So R, Kariyama K, Oyamada S, Matsushita S, Nishimura H, Tezuka Y, Sunami T, Furukawa TA, Sahker E, Kawaguchi M, Kobashi H, Nishina S, Otsuka Y, Kanda H, Tsujimoto Y, Horie Y, Yoshiji H, Yuzuriha T, Nouso K. Effectiveness of screening and ultra-brief intervention for hazardous drinking in primary care: pragmatic cluster randomised controlled trial. BMJ. 2025;390:e083985

（学会発表）

1．角南隆史．アルコール依存症の減酒治療～「がまん」から「よろこび」に変える～．第47回日本アルコール関連問題学会 スポンサードセミナー．2025.9.5．熊本市
2．角南隆史．世界と日本のアルコール使用障害の治療の潮流：SDG3.5を達成するために．環太平洋精神科医会議（第21回総会）／世界文化精神医学会（第７回総会）合同開催会議．2025.9.25．東京都
3．石井博修、松尾真樹、俵由里子、角南隆史、室雅巳．精神科医・心理師・助産師による周産期支援と地域連携の実践．第38回日本総合病院精神医学会．2025.11.22．宇都宮市

（講演）

1．角南隆史．「よろこび」に変わる減酒治療．セリンクロ発売６周年講演会．2025.8.25．佐賀市
2．角南隆史．明日から始める！がまんのいらない減酒治療．令和７年度一般医療機関アルコール専門研修（岡山市こころの健康センター）．2025.10.1．岡山市
3．角南隆史．依存症者や多量飲酒者への対応の基本．令和７年度アルコール関連問題支援者研修会（佐賀県精神保健福祉センター）．2025.10.17．佐賀市
4．石井博修．「低栄養」につながる高齢者の精神疾患とうつ症状．介護予防に係る専門職の人材育成研修会．2025.10.18．佐賀市
5．角南隆史．依存症者や多量飲酒者への対応の基本．令和７年度アルコール関連問題支援者研修会（大分県こころとからだの相談支援センター）．2025.10.24．大分市
6．角南隆史．アルコール依存症の理解と支援者の関わり方について．くらしの支援部会地域移行・退院促進協議会研修．2025.11.13．鳥栖市
7．石井博修．入院患者の精神症状への多職種での介入．総合病院精神科 情報共有の会in九州．2025.12.22．佐賀市
8．石井博修．高齢者の自殺予防．佐賀県地域保健福祉従事者研修会．2026.1.8．佐賀市

小児科

（論文）

1．池内愛子、大林梨津子、宮原貢一、田島大輔、山口賢一郎、野田隆博、田代克弥．当院における小児消化器内視鏡検査の検討．小児科;67:66-70

（学会発表）

1．馬場裕太、島田里美、横山梓、坂田佑理恵、伊東優哉、岩永晃、熊本愛子、前田寿幸、西村真二、小宮紀宏．黄色ブドウ球菌による急性橈骨骨髄炎と化膿性肘関節炎を合併した１か月男児の症例．第99回佐賀小児科地方会（ハイブリッド開催）．2025.4.13．佐賀市
2．熊本愛子、西村真二．Basedow病に伴いQT延長を呈した小児例：KCNQ1遺伝子ミスセンス変異の関与について．第61回日本小児循環器学会総会・学術集会．2025.7.10．三重県
3．岩永晃、横山梓、馬場裕太、島田里美、吉浦真登、伊東優哉、池内愛子、熊本愛子、西村真二．当院における食物蛋白誘発胃腸症に対する食物経口負荷試験の検討．第100回佐賀小児科地方会・第224回日本小児科学会長崎地方会合同地方会．2025.7.20．佐賀市
4．島田里美、横山梓、馬場裕太、吉浦真登、伊東優哉、池内愛子、岩永晃、熊本愛子、西村 真二．当院で入院加療を行ったマイコプラズマ感染症の後方視的検討．第100回佐賀小児科地方会・第224回日本小児科学会長崎地方会合同地方会．2025.7.20．佐賀市
5．岩永晃、森田駿、在津正文．ジファミラスト外用薬の併用がステロイド外用薬使用量に及ぼす影

響の後方視的検討．第53回西日本小児アレルギー研究会．2025.8.9．福岡県
6．熊本愛子、馬場裕太、島田里美、吉浦真登、伊東優哉、池内愛子、岩永晃、西村真二．ホルター心電図で検出困難であった発作性不整脈におけるパッチ型心電図の有用性．第101回佐賀小児科地方会(ハイブリッド開催)．2025.12.13．佐賀市
7．馬場裕太、島田里美、横山梓、吉浦真登、伊東優哉、池内愛子、岩永晃、熊本愛子、西村真二．インフルエンザ感染に続発した消化管出血による出血性ショックの２歳男児例．佐賀小児科地方会．2025.12.13．佐賀市

(講演)

1．馬場裕太．松浦消防小児救急勉強会　講師．松浦市消防本部．2025.4.12-13．長崎県
2．岩永晃．食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応．令和７年度学校における食物アレルギー対応研修会．2025.5.27．みやき町
3．岩永晃．食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応．令和７年度学校における食物アレルギー対応研修会．2025.6.3．塩田町
4．岩永晃．食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応．佐賀県教育センター初任者実践研修Ⅰ．2025.6.9．佐賀市
5．岩永晃．食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応．令和７年度学校における食物アレルギー対応研修会．2025.6.25．佐賀市
6．岩永晃．食物アレルギーの基礎知識と緊急時の対応．令和７年度学校における食物アレルギー対応研修会．2025.7.1．唐津市
7．岩永晃、西村真二．卵黄食べたら吐くんですけど。～当院における食物蛋白誘発胃腸症の診察～．佐賀大学小児科クリニカルカンファレンス．2025.7.1．佐賀市
8．吉浦真登．小児の便通異常．佐賀市川副町母子・学校保健を考える会．2025.9.30．佐賀市
9．馬場裕太．松浦市養護教諭勉強会　講師．2025.10.1．長崎県
10．岩永晃．当院におけるジファミラストの使用状況とその考察．佐賀県小児科医会学術講演会．2025.10.30．佐賀市
11．馬場裕太．PUSH 講師．肥前中学校．2025.10.30．唐津市
12．岩永晃．当院におけるアトピー性皮膚炎の診療状況～デュピルマブ使用例と非使用例～．佐賀県小児科医会学術講演会．2025.11.20．佐賀市
13．馬場裕太．佐賀広域消防小児救急勉強会　講師．佐賀市消防本部．2026.2.17．佐賀市
14．池内愛子．貧血を契機に診断された若年性ポリープの一例．第307回佐賀小児プライマリーケアカンファレンス．2026.3.26．佐賀市
15．馬場裕太．百日咳を語る．第307回佐賀小児プライマリーケアカンファレンス．2026.3.26．佐賀市

皮膚科

(学会・研究会発表)

1．米倉直美、光吉彩．皮膚症状から診断しえた皮膚筋炎の２例．第40回佐賀臨床皮膚科医会．2025.4.12．佐賀市
2．米倉直美、前山彩．急速に増大した皮下腫瘤を呈したサルコイドーシスの１例．第89回日本皮膚科学会佐賀地方会学術集会．2025.5.18．佐賀市
3．前山彩、米倉直美．　広範囲に皮疹を呈したSweet病の１例．第89回日本皮膚科学会佐賀地方会学術集会．2025.5.18．佐賀市
4．前山彩、米倉直美．急性骨髄性白血病に帯状疱疹とSweet病を合併した１例．第124回日本皮膚科学会総会．2025.5.31．横浜市
5．米倉直美．アトピー性皮膚炎と帯状疱疹について．2025年度皮膚の日　市民公開講座．2025.11.12．オンライン開催
6．米倉直美．　糖尿病患者や透析患者の足感染症．第42回佐賀臨床皮膚科医会．2025.12.13．佐賀市
7．米倉直美．褥瘡－正しい評価とケアを知る－．令和７年度薬剤師継続学習スクーリング講座．2026.3.8．佐賀市

泌尿器科

(学会発表)

1．児島偉人、松隈啓人、武井楓、佐藤暢晃、諸隈太．右腎癌下大静脈進展から急速に肺塞栓症に至った１例．第87回佐賀泌尿器科懇話会．2025.5.31．佐賀市
2．松隈啓人、武井楓、児島偉人、佐藤暢晃、諸隈太、原口裕貴．多発肝転移を契機に診断された前立腺小細胞癌の一例．第316回日本泌尿器科学会福岡地方会．2025.7.26．福岡市
3．佐藤暢晃、松隈啓人、武井楓、児島偉人、諸隈太．当院における転移性去勢感受性前立腺癌に対するTriplet 療法の使用経験．第77回西日本泌尿

器科学会総会．2025.11.14．高知市
4．児島偉人、松隈啓人、武井楓、佐藤暢晃、諸隈太．膀胱癌陰茎転移をきたした一例．第90回日本泌尿器科学会佐賀地方会．2025.12.6．佐賀市
5．武井楓、松隈啓人、児島偉人、佐藤暢晃、諸隈太．膀胱癌に対するロボット支援下膀胱全摘除術後に閉鎖神経による絞扼性イレウスをきたした一例．第317回日本泌尿器科学会福岡地方会．2026.2.21．久留米市

産婦人科

（論文（原著））

1．安永牧生、神下優、光貴子、八並直子．経腟的内視鏡手術（Transvaginal Naturel Orifice Transluminal Endoscopic Surgery: vNOTES）におけるENDOCAMELEONの使用経験．日本産科婦人科内視鏡学会誌．2025;第41巻第１号:79-83

（症例報告）

1．八並直子、野口光代、安永牧生．子宮摘出後に発生し持続した消化器症状に対して漢方が奏効した１症例．産婦人科漢方研究のあゆみ．2025;No.41:165-169
2．神下優、八並直子、光貴子、金井督之、安永牧生、室雅巳．反復した帝王切開瘢痕部妊娠に腹腔鏡下修復術を施行した一例．佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌．2026.3;第37号:27-31
3．八並直子、光貴子、吉武薫子、山口加恵、小林瑞季、安永牧生．子宮摘出後の骨盤臓器脱に対してロボット支援仙骨膣固定術を行った２症例～既往子宮摘出術式による術中所見の相違とその対応～．佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌．2026.3;第37号:38-42
4．吉武薫子、安永牧生、小林瑞季、山口加恵、光貴子、八並直子、室雅巳．腹腔鏡下に診断した傍卵管嚢胞妊娠の一例．佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌．2026.3;第37号:49-52
5．片岡亮、大島侑子、伊波勇祐、小畑実加、下村峻司、上妻友隆、野口光代、津村圭介．当院で周産期管理を行った50歳以上の卵子提供妊娠の２例．佐賀産科婦人科学会佐賀県産婦人科医会会誌．2026.3;第37号:53-56

（学会発表）

1．神下優、光貴子、八並直子、安永牧生．手術道具を使いこなす！～トランスイルミネーターの活用～．第20回九州産婦人科内視鏡研究会．2025.4.5．福岡
2．小林瑞季、池田正純、山崎温詞、神藤愛、山下夏未、吉武薫子、津田聡子、栗原麻希子、福田亜紗子、山本徒子、奥川馨、横山正俊．胎児期の診断が困難であった先天性クロール下痢症の一例．第82回九州連合産科婦人科学会・第76回九州ブロック産婦人科医会．2025.5.11．熊本市
3．神藤愛、小林瑞季、山崎温詞、山下夏未、池田正純、吉武薫子、田中久美子、栗原麻希子、福田亜紗子、梅﨑靖、奥川馨、横山正俊．子宮体内膜脱分化癌の２例．第82回九州連合産科婦人科学会・第76回九州ブロック産婦人科医会．2025.5.11．熊本市
4．山崎温詞、栗原麻希子、神藤愛、山下夏未、池田正純、吉武薫子、田中久美子、津田聡子、福田亜紗子、梅﨑靖、奥川馨、横山正俊．子宮頸癌の放射線治療後に発生した子宮体癌の一例．第77回日本産科婦人科学会学術講演．2025.5.23-25．岡山市
5．福田亜紗子、山下夏未、橋口真理子、小林瑞季、山崎温詞、神藤愛、吉武薫子、池田正純、栗原麻希子、梅﨑靖、奥川馨、横山正俊．NILM，ハイリスクHPV２年連続陽性で精査の結果，CIN3の診断となった４例．第77回日本産科婦人科学会学術講演．2025.5.23-25．岡山市
6．山口加恵、大島侑子、杉本愛沙、小畑実加、下村峻司、岡洋甫、小野剛史、上妻友隆、野口光代、野見山亮、津村圭介．胎盤臍帯病理診断（MIR・FIR）による胎児炎症反応症候群（FIRS）リスクの推定―早産期前期破水の有無を加えた検討―．第77回日本産科婦人科学会学術講演．2025.5.23-25．岡山市
7．神下優、光貴子、八並直子、金井督之、北川早織、安永牧生、室雅巳．当院における異所性妊娠の考察．第77回日本産科婦人科学会学術講演．2025.5.23-25．岡山市
8．小林瑞季、山下夏未、山本徒子、山崎温詞、神藤愛、池田正純、吉武薫子、津田聡子、梅﨑靖、奥川馨、横山正俊．胎児アシドーシス症例の胎児心拍数パターンとその要因．第77回日本産科婦人科学会学術講演．2025.5.23-25．岡山市
9．栗原麻希子、山崎温詞、神藤愛、山下夏未、池田正純、吉武薫子、田中久美子、津田聡子、福田亜紗子、梅﨑靖、奥川馨、横山正俊：子宮頸癌に対する放射線治療後に子宮摘出術を行った症例についての検討．第77回日本産科婦人科学会学術講

演．2025.5.23-25．岡山市

10．神下優、八並直子、光貴子、安永牧生．みんなに安全な輝く手術を目指して．第13回日本婦人科ロボット手術学会．2025.6.14．鳥取県米子市

11．福田亜紗子、橋口真理子、小林瑞季、山下夏未、栗原麻希子、内山倫子、梅崎靖、奥川馨、横山正俊．２年連続NILM／ハイリスクHPV陽性の確定精検で診断された子宮頸癌の検討．第66回日本臨床細胞学会総会（春期大会）．2025.6.27-29．東京．日本臨床細胞学会雑誌2025年；第64巻補冊1号：233

12．小林瑞季、福田亜紗子、橋口真理子、山下夏未、栗原麻希子、内山倫子、梅崎靖、奥川馨、横山正俊．腟原発悪性黒色腫の一例．第66回日本臨床細胞学会総会（春期大会）．2025.6.27-29．東京．日本臨床細胞学会雑誌2025年；第64巻補冊1号：245．2025.6.28

13．八並直子、光貴子、吉武薫子、山口加恵、小林瑞季、安永牧生．子宮摘出後の骨盤臓器脱患者に対するロボット支援仙骨膣固定術．佐賀産婦第231回学術研修会．2025.7.12．佐賀

14．山口加恵、光貴子、安永牧生、小林瑞季、吉武薫子、八並直子、室雅巳．診断に苦慮した付属器捻転の一例．佐賀産婦第231回学術研修会．2025.7.12．佐賀

15．片岡亮、池田正純、島内明子、大石将平、山崎温詞、伊波勇裕、小畑実加、下村峻司、大島侑子、上妻友隆、野口光代、野見山亮、津村圭介．正期産まで管理した胎児無頭蓋症．佐賀産婦第231回学術研修会．2025.7.12．佐賀

16．山崎温詞、大島侑子、片岡亮、島内明子、大石将平、伊波勇裕、小畑実加、下村峻司、池田正純、上妻友隆、野口光代、野見山亮、津村圭介．当院における卵子提供症例．佐賀産婦第231回学術研修会．2025.7.12．佐賀

17．大石将平、津村圭介、下村峻司、大島侑子、小野剛史、上妻友隆、野見山亮．不顕性早産期子宮内感染に対する待機的管理は可能か．第62回周産期・新生児医学会学術集会．周産期・新生児医学会雑誌61（Suppl.1）：346．2025.7.12-14．横浜

18．神藤愛、池田正純、小林瑞季、山崎温詞、山下夏未、吉武薫子、田中久美子、栗原麻希子、津田聡子、福田亜紗子、山本徒子、梅崎靖、奥川馨、横山正俊．胎児期の診断が困難であった小顎症の１例．第62回周産期・新生児医学会学術集会．周産期・新生児医学学会雑誌61（Suppl.1）：346．2025.7.12-14．横浜

19．神下優、八並直子．高齢で見つかったSwyer症候群の一例．第67回日本婦人科腫瘍学会学術集会．2025.7.18．東京

20．光貴子．産婦人科の初期臨床研修におけるチェックリスト共有についての検討．第57回日本医学教育学会大会．2025.7.25-27．秋田

21．大島侑子、上妻友隆、片岡亮、島内明子、山崎温詞、大石将平、伊波勇裕、小畑実加、下村峻司、池田正純、野口光代、津村圭介．抗SSA/Ro抗体陽性母体で胎児が重症心不全を来した１例．第47回日本母体胎児医学学会学術集会．2025.8.23．長崎

22．小林瑞季．当院における周産期メンタルヘルスケア．第61回佐賀周産期カンファレンス．2025.9.1．佐賀

23．八並直子、野口光代、安永牧生．骨盤臓器脱合併尿失禁に伴う頻尿に対し六味丸が奏効した一例．第44回産婦人科漢方研究会学術集会．2025.9.7．松山市

24．八並直子、神下優、光貴子、吉武薫子、安永牧生．単一施設におけるロボット支援腟断端挙上術とvNOTES腟断端挙上術の後ろ向き比較検討．第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 アジア婦人科ロボット手術学会学術集会2025．2025.9.18-20．鹿児島市

25．光貴子、吉武薫子、小林瑞季、山口加恵、八並直子、安永牧生．確実な腟円蓋同定のための工夫．ICG蛍光観察モードを利用したSecuFix子宮トランスイルミネーターによる腟円蓋同定法．第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 アジア婦人科ロボット手術学会学術集会2025．2025.9.18-20．鹿児島市

26．吉武薫子、安永牧生、八並直子、光貴子．当院における腹腔鏡下子宮全摘手術の術式による比較・検討．第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 アジア婦人科ロボット手術学会学術集会2025．2025.9.18-20．鹿児島市

27．神下優、山下夏未、鶴久麻由美、里見雪音、藤玄一郎、安永牧生．安全な手術は機器・器具・手術技術の共存．第65回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会 アジア婦人科ロボット手術学会学術集会2025．2025.9.18-20．鹿児島市

28．坂西愛、川崎いずみ、野口光代．女性アスリートの利用可能エネルギー不足についての検討.第40回日本女性医学学会学術集会．2025.11.1．東京

29．野口光代．保存的に加療しえた長期留置IUDからの骨盤内放線菌症による直腸瘻孔の１例．第40

回日本女性医学学会学術集会．2025.11.2．東京
30．光貴子．子宮内膜症の外来診療における薬物治療の実際．佐賀婦人科疾患カンファレンス．2025.11.17．佐賀
31．小林瑞季、安永牧生、光貴子、森大輔、田中裕也、中村朱、坂井真一、原成美．子宮頸癌との鑑別を要した子宮頸部放線菌症の一例．第67回日本臨床細胞学会総会（秋期大会）．2025.11.29-30．広島. 日本臨床細胞学会雑誌. 2025;第64巻補冊２号. 532
32．野口光代、大島侑子、上妻友隆、大隈良譲、津村圭介、室雅巳．病院前周産期救急のためのプレホスピタルコース（J-CIMELS、NCPR）開催について～佐賀県メディカルコントロール（MC）活動プロトコールの検証を含めて～．佐賀産婦第232回学術研修会．2025.12.7．佐賀
33．村山美夏、光貴子、小林瑞季、吉武薫子、久米可奈子、八並直子、野口光代、室雅巳、安永牧生．美容外科での腟縮小術後に膿瘍を形成した１例．佐賀産婦第232回学術研修会．2025.12.7．佐賀
34．安永牧生．子宮筋腫の診断、治療におけるGnRhアンタゴニストの位置づけ～イセルティ錠の可能性について～．Gynecology Web Seminar．2026.3.13．オンライン開催
35．野口光代．加味帰脾湯と産後うつ．女性×メンタル こころに寄り添う漢方セミナー．2026.3.17．佐賀

眼科

（学会発表）

１．佐々由季生．テプロツムマブの使用経験～ステロイドとの比較～．甲状腺眼症地域フォーラムin佐賀．2025.12.19．佐賀市
２．高木宣典、佐々由季生．テプロツムマブの使用経験～ステロイドとの比較～．第36回筑後眼科研究会．2026.3.14．佐賀市

耳鼻いんこう科

（論文）

１．村岡俊一、深浦順一、宮崎純二．補聴器装用が高齢難聴者の語音聴取能に及ぼす影響．言語聴覚研．2026;23(1):38-46.

（学会発表）

１．相良俊介、宮﨑俊一、宮崎純二．耳下腺に発症したmultifocal nodular oncocytic hyperplasia．第129回日本耳鼻咽喉科学会佐賀県地方部会学術講演会．2025.12.6．佐賀

（メディア出演）

１．宮崎純二．サガテレビかちかちLive「乗り物酔い対策」．2025.10.6
・宮崎純二．サガテレビかちかちLive「のどの乾燥対策」．2025.11.3
・宮崎純二．サガテレビかちかちLive．まるっとライフ～花粉症　今年の花粉予想と対策～．2026.2.9

放射線科

（論文）

１．Yamaguchi K, Ichinohe K, Iyadomi M, Fujiki K, Yoshinaga Y, Egashira R, Nakazono T. Abbreviated and Ultrafast Dynamic Contrast-enhanced (DCE) MR Imaging. Magn Reson Med Sci. 2025;24(3):315-331. doi:10.2463/mrms.rev.2024-0158
２．Yamaguchi K, Egashira R, Nakazono T, Yoshinaga Y, Baba K, Kataoka M, Yabuuchi H, Aoki T, Togao O. CT findings of lung injury during breast cancer treatment. Breast Cancer. 2026;33(1):50-61. doi:10.1007/s12282-025-01816-1
３．増田千夏、吉永優、中園貴彦、山口健、甲斐敬太、栂尾理. 出血合併により突然の前胸部圧迫感を生じた多房性胸腺嚢胞の１例. 臨床放射線. 2026;71:131-136

（学会・研究会発表）

１．宮﨑研斗．原始遺残三叉動脈（外側型）の１例．第763回 レントゲンアーベント．2025.6.13．オンライン開催
２．宮﨑研斗．Glioblastoma IDH wild typeの１例．第765回 レントゲンアーベント．2025.9.12．オンライン開催
３．中園貴彦．縦隔区分と鑑別診断：前縦隔．第61回日本医学放射線学会秋季臨床大会　2025.10.17-19．名古屋市
４．吉永優、山口健、栂尾理、中園貴彦、高橋浩一郎、手石方崇志、平塚昌文、橋口真理子、加藤省一．気管支内に発生したhyalinizing clear cell carcinomaの一例．第39回胸部放射線研究会．2025.10.17．名古屋市

5．宮﨑研斗、中園貴彦．肺腫瘍の症例．北部九州画像診断フォーラム．2025.10.25．福岡市
6．宮﨑研斗．メトロニダゾール脳症の１例． 第767回 レントゲンアーベント．2025.11.14．オンライン開催
7．宮﨑研斗．石灰沈着性頸長筋腱炎の１例． 第768回 レントゲンアーベント．2025.12.12．オンライン開催
8．安座間真也、宮﨑研斗、福田真弓、岸川浩尚、森田孝一郎、大崎隼、里学、中園貴彦．EVAR後にType Ⅱ エンドリークによる動脈瘤破裂をきたした１例．第47回 九州IVR研究会．2025.12.20．福岡市
9．森田孝一郎、安座間真也、宮﨑研斗、豊田広之、岸川浩尚、福田真弓、武井楓、諸隈太、中園貴彦．腎血管筋脂肪腫に対してN-butyl-2-cyanoacrylate（NBCA）を用いて動脈塞栓術を施行した１例．第47回 九州IVR研究会．2025.12.20．福岡市
10．豊田広之、安座間真也、宮﨑研斗、福田真弓、岸川浩尚、森田孝一郎、中園貴彦、古賀浩木、三好篤、森大輔．肝原発神経内分泌癌の一例．第202回日本医学放射線学会九州地方会．2026.2.14-15．佐賀市
11．福田真弓、安座間真也、宮﨑研斗、豊田広之、岸川浩尚、森田孝一郎、中園貴彦．膵mixed serous neuroendocrine neoplasm（MSNN）の１例．第202回日本医学放射線学会九州地方会．2026.2.14-15．佐賀市
12．宮﨑研斗、吉永優、中園貴彦．症例検討会　肺葉外肺分画症捻転．第202回日本医学放射線学会九州地方会．2026.2.14-15．佐賀市
13．宮﨑研斗．OHVIRA症候群の１例． 第771回 レントゲンアーベント．2026.3.13．オンライン開催
14．豊田広之、安座間真也、宮﨑研斗、岸川浩尚、森田孝一郎．膵仮性嚢胞内の仮性動脈瘤に対しTAEを施行した一例．第69回 福岡IVRカンファレンス．オンライン開催
15．森田孝一郎、豊田広之、安座間真也、岸川浩尚、相部仁．直腸AVMに対し経門脈的にBRTOを施行した一例．第70回 福岡IVRカンファレンス．オンライン開催
16．森田孝一郎、安座間真也、宮﨑研斗、豊田広之、岸川浩尚、福田真弓、中園貴彦．腹部大動脈瘤に対するEVAR術後のType Ⅱ endoleakによる瘤径増大によりType Ia endoleakを生じ、瘤破裂に至ったと思われる１例．第71回 福岡IVRカンファレンス．オンライン開催
17．岸川浩尚、安座間真也、森田孝一郎、豊田広之、宮﨑研斗、中園貴彦．十二指腸静脈瘤破裂に対してB-RTOを施行した一例．第72回 福岡IVRカンファレンス．オンライン開催
18．森田孝一郎、安座間真也、宮﨑研斗、豊田広之、岸川浩尚、福田真弓、中園貴彦．バルーン閉塞下にコイルを留置した際、破裂したバルーンにコイルが絡まりカテーテルごと回収した１例．第73回 福岡IVRカンファレンス．オンライン開催

麻酔科

（著書・論文）

1．田代卓、三浦大介．帰室後にブロック関連トラブルでうまくいかない．LiSA．2026；VOL.33 NO.04：336-340.

（学会発表）

1．三浦大介、草場真一郎、馬場麻理子、池田智子、永石雄基、田代卓、武藤さら良、浦知佳子．シアノアクリレート系組織接着剤を用いた動脈圧ライン固定の有用性に関する検討．第21回麻酔科学サマーセミナー 最優秀演題．2025.7.19．沖縄
2．草場真一郎、三浦大介．胃瘻造設術を受ける重症心身障害児に対する腹部末梢神経ブロックが術後合併症に与える影響についての検討．第30回日本小児麻酔学会．2025.10.4．徳島
3．三浦大介、溝口真実、近藤徹弥、今池彰、安永牧生．当院における予定手術時間入力の厳格化による手術室の効率的運用に向けた取り組み．全国自治体病院学会．2025.10.31．群馬
4．古川哲朗、田代卓、三浦大介．APTT延長を契機に診断された抗リン脂質抗体陽性患者の開腹小腸切除に対し硬膜外麻酔を施行した一例．日本臨床麻酔学会 第45回学術大会．2025.12.5．愛知
5．橋口公輔、三浦大介．経口内視鏡的筋層切開術後に広範囲な皮下気腫を認めICU管理を要した１例．日本臨床麻酔学会 第45回学術大会．2025.12.5．愛知

（講演・インストラクター）

1．三浦大介．鹿児島区域麻酔Springセミナー2025 ハンズオンインストラクター．2025.4.12.
2．三浦大介．第３回日本区域麻酔学会．ポスター発表 座長．2025.4.18.
3．三浦大介．第８回九州超音波麻酔アカデミー

ハンズオンコーディネーター. 2025.8.2.
4．三浦大介．日本小児麻酔学会 第30回学術集会 区域麻酔領域 座長．2025.10.5.
5．三浦大介．日本小児麻酔学会 第30回学術集会 神経ブロックハンズオンセミナー インストラクター．2025.10.5.
6．三浦大介．第 4 回沖縄区域麻酔セミナー ハンズオンインストラクター．2025.10.25.
7．三浦大介．日本臨床麻酔学会 第45回学術大会 神経ブロックハンズオンセミナー インストラクター．2025.12.5.
8．三浦大介．日本医学シミュレーション学会 鎮静セミナー インストラクター．2026.2.1.
9．三浦大介．鹿児島区域麻酔Winterセミナー 2024 ハンズオンインストラクター．2026.2.21.

看 護 部 門

（雑誌投稿）

1．草場智恵子．ベテランナースのワザを学ぶ！器械出しLets know MORE！ 脳神経外科編～脳動脈瘤クリッピング術～．日総研出版 オペナーシング；40巻６号．2025.4.25
2．宮本裕太．わたしの勉強法～特定行為研修中・研修後の継続学習･学びの仕組みの最前線～．ヴィクソンインターナショナル 特定行為看護；第４号：Vol.1No.4．2025.6.20
3．満岡大貴．特定行為の手順書と麻酔管理指示書を活用した麻酔管理の実践と検証．日総研出版 隔月刊 手術看護エキスパート．2025.7.10
4．福井直子．看護がつなぐ医療安全管理ネットワーク．日総研出版 隔月刊 看護部長通信；Vol.23（WEBページ）．2025.8.20
5．伊東美知代．DPC期間Ⅱの最終日退院を目指した病床管理．．日総研出版 隔月刊 地域連携　入退院と在宅支援．2025.11.21

（学会発表）

1．糸山彩子．A病院ICUでの褥瘡発生と重症患者の関連性．第22回日本褥瘡学会・九州・沖縄地方会学術集会．2025.5.17．長崎
2．宮本裕太．特定行為のアウトカムはどこなのか～A病院ICUの特定行為の活動報告と今後の展望～．第21回日本クリティカルケア看護学会．2025.7.5．東京
3．橋口佳奈子．３チーム制導入における看護師の協力体制の効果．第27回日本医療マネジメント学会学術集会．2025.7.18-19．仙台
4．尾形佳美．特定看護師の術後疼痛管理チームにおける活動の評価．第27回日本医療マネジメント学会学術集会．2025.7.18-19．仙台
5．森脇舞．NICUにおける災害に備えた新生児搬送～シミュレーションからみえた今後の課題～．第75回日本病院学会．2025.7.24-25．長崎
6．三好恵美子．感染管理の核となる看護師育成の取り組み－行政機関と地域の感染管理認定看護師が協働で行う研修－．第40回日本環境感染学会総会・学術集会．2025.7.24-25．横浜
7．花島梨央．PD学習と組み合わせた独自のPD看護技術確認シート評価と課題．第６回九州CKD看護研究会．2025.10.19．福岡
8．池田恵子．特定行為研修の組織定着化支援事業における共通科目受講機会提供の評価．第60回全国自治体病院学会in群馬．2025.10.30-31．群馬
9．野中貴子．急性期における看護職とナースエイドの協働体制構築．第60回全国自治体病院学会in群馬．2025.10.30-31．群馬
10．大坪千夏．小児の血管外漏出フローチャート導入による効果の検証．第60回全国自治体病院学会in群馬．2025.10.30-31．群馬
11．角田亜夏里．CV挿入部のフィルムドレッシング剤によるテープテア減少に向けた取り組み～３つの目的別アプローチ～．第60回全国自治体病院学会in群馬．2025.10.30-31．群馬
12．副島暁子．こだわりに寄り添い“その人らしさ”を支えた看護実践～終末期癌患者の最期を共に考える～．第48回日本死の臨床研究会年次大会．2025.11.1-2．岩手
13．山口雅美．救急外来における帰宅時支援導入後１年間の実績と課題．第27回日本救急看護学会学術集会．2025.11.7．北海道
14．内田陽一郎．救急看護実践能力に応じたフライトナースの育成．第32回日本航空医療学会．2025.11.14-15．静岡
15．下村聡美．入院説明の動画化による患者・家族の理解向上への効果．日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分
16．森永育美．入院説明方法の違いによる看護師対応時間の比較検討．日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分
17．山田涼太．転倒転落予防フローチャートと環境調整を併用した転倒転落予防の効果．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分
18．北村たか子．看護師の特定行為研修における区分別科目実習の導入とその効果．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分
19．福井直子．画像診断報告書既読管理システムの運用と重要フラグ見逃し防止の取り組み．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分
20．佐藤裕美．全死亡症例の検証と医療の質向上に向けた取り組み．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分
21．北原真由子．入院時誤嚥、窒息ハイリスク評価と予防的介入の実態．日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分
22．太島愛子．外来における抗がん薬内服患者へのセルフケア支援の取り組み．日本医療マネジメ

ント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.22-23．大分

23．小川哲史．周術期に係る特定看護師の活動～術中麻酔管理領域における特定行為～．特定行為看護師MINI学会2025．2025.12.6．福岡

24．北原真由子．A病院の「摂食嚥下・口腔ケアアドバンス研修」修了者の実践報告．第44回佐賀県看護研究学会．2026.2.23．佐賀

25．水田美幸．血液内科における中心ライン関連血流感染予防への取り組みと評価．第44回佐賀県看護研究学会．2026.2.23．佐賀

26．下川隆子．腹膜透析トラブルに関する患者から電話対応～フローチャートによる統一した対応を目指して～．第16回佐賀県腎不全看護研究会．2026.3.8．佐賀

診療支援部門

薬剤部

（論文）

1．黒部健太郎．切除不能進行・再発膵臓がんに対するFOLFIRINOX施行後の体重減少が生存期間に与える影響．医療薬学．2025.11;第51巻(11号):678-685

（学会・研究会発表）

1．黒部健太郎．高齢者肺がんに対する免疫チェックポイント阻害薬の使用状況と甲状腺機能異常に対する取り組み．肺癌Seminer in SAGA．2025.4.25．佐賀市
2．宮原強．術後疼痛管理チーム介入を要する関連因子の探索と効果的な術後疼痛緩和の検討．第18回日本緩和医療薬学会年会．2025.6.22．千葉市
3．黒部健太郎．切除不能進行・再発膵臓がんに対するFOLFIRINOX施行後の体重減少が生存期間に与える影響．第18回日本緩和医療薬学会年会．2025.6.22．千葉市
4．黒部健太郎．切除不能進行・再発膵臓がんに対するFOLFIRINOX施行後の体重減少が生存期間に与える影響．第29回佐賀NST研究会．2025.6.28．佐賀市
5．徳永晃．急性期脳疾患患者に対するお薬手帳による情報提供(アンケート調査)．第27回日本医薬品情報学会総会・学術大会．2025.7.5-6．広島市
6．黒部健太郎．がん化学療法におけるHBV再活性化予防へのPBPMに対する医師・薬剤師の満足度調査．第27回日本医療マネジメント学会．2025.7.19．仙台市
7．徳永晃．急性期脳疾患患者に対するお薬手帳による情報提供(連携病院アンケート調査)．第84回九州山口薬学大会．2025.9.14-15．佐賀市
8．黒部健太郎．タルラタマブ投与におけるCRS/ICANS対応フローチャートの看護師からの評価．第84回九州山口薬学大会．2025.9.15．佐賀市
9．水田秀貴．心不全と腫瘍循環器について．がん化学療法連携セミナー．2025.9.25．佐賀市
10. 田中康弘. 脂質管理 ACS患者への新規取り組み．LEQVIO WEB Symposium．2025.10.8．佐賀市
11. 徳永晃．高齢者の複合的薬剤性急性腎障害に早期にチームで介入した症例．第19回日本腎臓病薬物療法学会学術集会・総会．2025.11.1．東京都
12. 佐野雅彦．エプコリタマブ投与中に発症したHHV-6髄膜脳炎の一例．第35回日本医療薬学会年会．2025.11.22-24．神戸市
13. 黒部健太郎．免疫チェックポイント阻害薬による甲状腺機能異常に対するPBPMの有用性と医師からの評価．第35回日本医療薬学会年会．2025.11.23．神戸市
14. 黒部健太郎．がん化学療法の質向上に向けての当院での取り組み．第67回福岡県病院薬剤師会オンコロジー研修会．2025.11.26．福岡市
15. 徳永晃．急性期脳疾患患者の退院時におけるお薬手帳活用による情報共有の工夫と効果．日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会．2025.11.28．別府市
16. 佐野雅彦．臨床研修医を対象としたACP研修会後に関するアンケート報告．日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会．2025.11.28-29．別府市
17. 田中康弘．みんなで学ぼうCSCA～僕たちの災害発生時のキーワード～．佐賀県病院薬剤師会新規採用薬剤師および卒後教育研修会．2026.1.17．佐賀市
18. 水田秀貴．SGLT-2阻害薬の適正使用について．心不全におけるフォシーガの適正使用を考える会．2026.1.20．佐賀市
19. 徳永晃．リフィーディングや薬剤性（疑い）の低リン血症に対しリン補充を行った急性期脳疾患症例３例．第41回日本栄養治療学会学術集会．2026.2.14．横浜市
20. 八頭司正稔．当院ICUにおける人工呼吸中の鎮静：フェンタニルからレミフェンタニルへの切り替えの影響について．第53回日本集中治療医学会学術集会．2026.3.5．横浜市
21. 黒部健太郎．がん悪液質に対するアナモレリンの継続に関与する因子の検討．第50回九州代謝・栄養研究会．2026.3.14．久留米市

医療安全管理部

（執筆）

1．福井直子．看護がつなぐ「医療安全管理ネットワーク」Webリレー連載.「隔月刊 看護部長通信」日総研 2025年 ;8-9月号

（学会発表）

1．内藤光三、武田雄二、福井直子、徳島香奈．急性期病院における医療の安全確保と質改善活動について．第27回 日本医療マネジメント学会学術

総会．2025.7.18．仙台
2．内藤光三、武田雄二、福井直子、江副直子、佐藤裕美、菊池智美、甘利香織．臨床研修医からのインシデントレポートの検討．第20回 医療の質・安全学会学術集会．2025.11.9．京都
3．武田雄二、内藤光三、甘利香織、福井直子、江副直子、佐藤裕美、徳島香奈．多職種・部署横断的に開催したM&Mカンファレンスについて　～開催の経験と今後の課題～．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.28-29．大分
4．佐藤裕美、内藤光三、武田雄二、福井直子、江副直子．全死亡症例の検証と医療の質向上に向けた取り組み．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.28．大分
5．内藤光三、横井直美．人生100年社会における臨床倫理(多職種チームの活動)．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会 シンポジウム１(座長)．2025.11.28．大分
6．福井直子、内藤光三、武田雄二、中川香澄．画像診断報告書既読管理システムの運用と重要フラグ見逃し防止の取り組み．日本医療マネジメント学会 第22回九州・山口連合大会．2025.11.29．大分

(講演)

1．武田雄二．呼吸器・肺がん診療　～医療安全担当の目線から～．筑後ブロック肺がん検診従事者講習会、第387回 筑後地区胸部疾患懇話会．2025.6.27．久留米
2．内藤光三、今池彰．受審病院体験談～病院機能評価受審の準備と実際～.病院機能改善セミナー．2025.8.1．福岡
3．内藤光三．患者安全確保のための医科歯科連携．佐賀市歯科医師会勉強会．2025.11.6．佐賀

(講義)

1．福井直子．安全文化の醸成．日本看護協会主催 2025年医療安全管理者研修　講師．2025.10.31

感染制御部

(論文)

1．山口健太、佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、松下義照、久保田寧、福岡麻美．血液培養自動分析装置BacT/ALERT VIRTUO導入前後における嫌気性菌検出状況の比較検討．臨床微生物迅速診断研究会誌．2025;35(1):1-6

(学会発表)

1．三好恵美子、執行えりこ、重松孝誠、古賀陽子．感染管理の核となる看護師育成の取り組み－行政機関と地域の感染管理認定看護師が協働で行う研修－．第40回日本環境感染学会総会・学術集会．2025.7.11．横浜市
2．泉朱里、佐野由佳理、矢野智彦、香月万葉、田口舜、松下義照．当館でのFilmArray髄膜炎・脳炎パネルの運用実績と臨床への貢献．2025年度日臨技九州支部医学検査学会(第59回)．2025.10.18．大村市
3．山口健太、佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、曲渕裕樹、福岡麻美．急激な経過を辿った重症熱性血小板減少症候群(SFTS)と*Capnocytophaga canimorsus*による重複感染の１症例．第37回日本臨床微生物学会学総会・学術集会．2026.2.13．千葉市
4．佐野由佳理、泉朱里、矢野智彦、田口舜、香月万葉、曲渕裕樹、福岡麻美．海外渡航歴のない患者からNDM-5型CPEが検出された１症例．第37回日本臨床微生物学会学総会・学術集会．2026.2.13．千葉市
5．水田美幸、森田めぐみ、山口文美、三好恵美子．血液内科における中心ライン関連血流感染予防への取り組みと評価．2025年度第44回佐賀県看護研究学会．2026.2.23．佐賀市

(講演・研究会発表)

1．田口舜．セクション1「グラム染色検査」．日臨技九州支部研修会「微生物部門研修会」．2025.11.9．オンライン開催
2．香月万葉．好生館検査部におけるリブレ２のセンサー取付の運用．佐賀県臨床検査技師会企画研修会「タスクシフトシェア佐賀県内施設の現状」．2025.12.9．佐賀市
3．田口舜．Diagnostics Stewardshipに向けた当館における血液培養検査の運用－バクテアラートVIRTUOを活用して－．BioNet感染症検査フォーラム九州・沖縄地区．2025.12.13．福岡市
4．田口舜．微生物部門/同定/試料26の解析報告．第54回（2025年度）九州臨床検査精度管理研究会「精度管理報告会」．2026.2.1．福岡市

(受賞)

1．山口健太．第37回日本臨床微生物学会学総会・

学術集会　優秀演題20選．2026.2.14

医療情報部

（寄稿）

1．峰和樹．佐賀県医療センター好生館における医療データ活用の内製化．ITvision．2025：No.54：52-53

総合教育研修センター

（論文）

1．福田ゆい．複視と歩行困難を主訴に救急外来を受診したFisher症候群の一例．好生．2025；59：44-45
2．原口佳奈子 他．大量血胸を合併した神経線維腫症１型の一例．好生．2025;59:48-50
3．森桃子 他. 造影CTにて診断し得たSAMの１例. 好生．2025;59:51-54

（学会発表）

1．甘利香織．症例検討から学ぶ診断推論戦略　特別編９～頸部痛を深める．第４回JPCA佐賀セミナー．2025.6.5．佐賀市
2．大塚美紀、松尾天雅．後頸部痛を主訴に受診した36歳男性．第４回JPCA佐賀セミナー．2025.6.5．佐賀市
3．藤田尚宏. ルネッサンスシンポジウム（人材育成）当院における研修医の救急スキル習得のための取り組みと課題～働き方改革も踏まえて～．第29回日本救急医学会九州地方会．2025.6.28．佐賀市
4．中島陽美．劇症型溶結性連鎖球菌感染症により急速に致死的経過をたどった一例．Ｒ８年度第１回好生館医学会．2025.7.17．佐賀市
5．甘利香織．臨床研修医のインシデントレポートシステムを用いた診断エラー報告．第57回日本医学教育学術集会．2025.7.25．秋田市
6．甘利香織．CVC挿入を見直す．Ｒ８年度第２回好生館医学会．2025.9.18．佐賀市
7．原瑞希．短時間で複数回walk in利用歴のある重症血友病患者への包括的アプローチの考察．Ｒ８年度第２回好生館医学会．2025.9.18．佐賀市
8．甘利香織．GM-ITE結果をもとにした教育の検討．第53回日本救急医学会総会・学術集会．2025.10.28．大阪市
9．藤田尚宏．当館ERの研修医見落とし症例の検討とフィードバックの工夫．第53回日本救急医学会総会・学術集会．2025.10.30．大阪市
10．坂井耀一．救急外来での創傷処置後のパンフレット作製．Ｒ８年度第３回好生館医学会．2025.11.20．佐賀市
11．藤田尚宏．教員・医療従事者向け Hands only CPR&AED 講習会の有用性の検討―オートショックAEDの問題点も含め―．日本蘇生学会第44回大会．2025.11.23．足利市
12．甘利香織．人生100年時代に患者・医療者に伴走する．日本医療マネジメント学会第22回九州・山口連合大会．2025.11.28．別府市
13．田中康聖．当館で初めて脳死判定・臓器移植に至った一例．Ｒ８年度第４回好生館医学会．2026.1.15．佐賀市
14．藤田尚宏．AHA 心肺蘇生コースにおけるCCF競技を見直す～圧迫・換気パフォーマンスも踏まえて～．第53回日本集中治療医学会学術集会．2026.3.7．横浜市
15．吉山満亜久．好生館研修での学びと研修医の今後．Ｒ８年度好生館医学会総会．2026.3.14．佐賀市

（講演等）

1．最新の心肺蘇生ガイドラインに準拠した蘇生スキル演習　～窒息解除法や頭部外傷など養護教員が知っておくべき応急処置も含めて～．令和７年度新規採用養護教諭研修Ⅱ．・養護教諭３年経験者研修Ⅰ．2025.7.29．佐賀市
2．最新の心肺蘇生ガイドラインに基づいた心肺蘇生法および異物除去法について．第２回鹿島嬉野藤津地区養護教諭部会研修会．2025.8.4．藤津郡太良町
3．胸骨圧迫のみの蘇生とAED（AHA 心肺蘇生ガイドライン2020対応版）～フィードバック機能付きマネキンを用いて～．中学校教員向け救命救急講習会（職員研修）．2025.8.5．佐賀市
4．AHA 心肺蘇生ガイドライン2020準拠 Family & Friends コース．SAGA-HIMAT職員向け救命救急講習会．2025.9.13．鳥栖市

総合臨床研究所

臨床試験推進部

（学会発表）

1．宮﨑敦．分散型臨床試験の現状と未来－パートナー医療機関等の連携体制の構築－．第９回日本臨床薬理学会九州・沖縄地方会．2025.7.26．佐賀

疾患病態研究部

（論文：和文総説）

1．泉秀樹．中心体は、がん幹細胞の非対称細胞分裂をコントロールするか. サイトメトリー・リサーチ．in press

（論文：和文エッセイ）

1．泉秀樹．医学・生命科学の研究について．好生. 2025；59：88-89

疾患ゲノム研究部

（論文発表）

1．Prevalence and clinicopathological features of microsatellite instability-high metastatic or recurrent gastric and esophagogastric junction cancer: WJOG13320GPS. Komori A, et al. Among authors: Kashiwada t. Gastric Cancer. 2025. PMID: 39738793

2．An observational/translational study to conduct real-world evidence and develop biomarkers of fruquintinib for patients with metastatic colorectal cancer（mCRC）: FruBLOOM trial（JACCRO CC-19）. Author: Yu Sunakawa, Chiaki Inagaki, Satoshi Yuki, Among authors: Kashiwada t., et al. Publication: Journal of Clinical Oncology Publisher: Wolters Kluwer Health, Inc. Date: May 28, 2025

（学会発表）

1．安波道郎、柏田知美．Expression and function of the class V alcohol dehydrogenase encoded by ADH6 gene which resides in the ADH gene cluster. 日本人類遺伝学会 第70回大会. 2025.12.17-20. 横浜

臨床統計支援部

（論文執筆）

1．貞嶋栄司．空間疫学を用いた子宮の悪性新生物による死亡リスクの地域格差の可視化 条件付自己回帰モデルによる標準化死亡比の推定．好生. 2025；59：35-40

2．Shioga T, Naito Y, Nakayama M, Tanigawa M, Yano Y, Sadashima E, Terabe H, Miyazaki D, Hisada T, Akiba J, Yano H（2025）. Auerbach's plexus invasion as a key pathological factor for predicting outcomes in ampullary carcinoma. *Human Pathology*, *155*, 105733. doi 10.1016/j.humpath.2025.105733
* 医療統計コンサルティング

3．Naito Y, Kawahara A, Makino R, Tokumitsu T, Nagayama D, Sadashima E, Nakamura K, Nishizaki R, Nagatomo T, Fujino Y, Hayakawa C, Mizuguchi K, Mori T, Hirabayashi K, Tajiri T（2025）. Diagnostic criteria of bile cytology: a multicenter comparative study of conventional and liquid-based cytology in Japan. *Acta Cytologica*, *69*（3）, 269-279. doi: 10.1159/000544997.
* 医療統計コンサルティング

4．Ishida Y, Tsuchiya N, Koga T, Kitaguchi T, Matsumoto K, Fukuyama M, Hata K, Nishioka K, Shiga N, Iwasa T, Ishikawa H, So N, Matsuoka H, Kuno N, Funakoshi S, Ashizuka S, Sadashima E, Hirai F（2026）. Effect of a self-assembling peptide hydrogel on delayed bleeding following endoscopic sphincterotomy: Prospective pilot cohort study. *Endoscopy International Open*, *14*（continuous publication）. doi: 10.1055/a-2803-3921. eCollection 2026.
* 医療統計コンサルティング

（謝辞）

1．Tsumura K, Yamasaki F, Nomiyama M, Yamaguchi K, Sugimoto A, Obata M, Shimomura T, Oka Y, Oshima Y, Ono T, Noguchi M, Kozuma Y, Nakakura Y, Yanagihara I, Yokoyama M（2025）. Relationship between fetal inflammatory response syndrome and stages of acute placental inflammation stratified by the presence or absence of preterm premature rupture of membranes. *Placenta*, *167*, 64-70. doi: 10.1016/j.placenta.2025.05.001

＊医療統計コンサルティング

2．Oshima Y, Nomiyama M, Tsumura K, Tsuda S, Ono T, Kozuma Y, Yamasaki F, Nakamura Y, Yanagihara I, Yokoyama M(2025). Intra-Amniotic Infection Prediction Score Based on Simple Maternal Information for Preterm Premature Rupture of Membranes. Journal of Obstetrics and Gynaecology Research, 51(10), e70100. doi: 10.1016/j.placenta.2025.05.001
＊医療統計コンサルティング

（学会・研究会発表）

1．Naito Y, Kawahara A, Tokumitsu T, Nagayama D, Makino R, Sadashima E, Nakamura K, Nagatomo T, Hayakawa C, Mizuguchi K. A Retrospective Multicenter Study of Bile Cytology in Japan: Possibility of Improving Diagnostic Accuracy of Bile Cytology Using Liquid-based Cytology. 22nd International Cytology Congress. 2025.5.11-15. Italy

2．赤澤昭一、貞嶋栄司、川原仁美、杉本悠花、世羅康徳、和泉元衛．糖尿病性腎症各期（1-3期）におけるbaseline eGFRと危険因子の組み合わせにおけるeGFR低下率の検討．第68回日本糖尿病学会年次学術集会．2025.5.31．岡山市

3．貞嶋栄司．医学論文の読み解き方：生物統計で見抜く重要ポイント．泌尿器癌治療を考える会 in 北九州．2025.5．北九州

4．内藤嘉紀、徳満貴子、長山大輔、中村香織、早川智絵、貞嶋栄司、長友忠相、水口敬士、平林健一、田尻琢磨．胆汁細胞診における新たな診断区分の確立．第66回日本臨床細胞学会総会（春期大会）．2025.6.27-29．東京

5．貞嶋栄司．空間疫学を用いた子宮の悪性新生物による死亡リスクの地域格差の可視化 条件付自己回帰モデルによる標準化死亡比の推定．好生館医学会11月例会．2025.11．佐賀市

事　務　部

（学会等）

1．徳島香奈、長友篤志．SNSを活用した広報活動による「好生館ファン」を増やす取り組み．日本医療マネジメント学会　第22回九州・山口連合大会．2025.11.28．別府市

2．末安正洋、小山敬．当館災害対策室の取組み～全国水準の災害医療体制を目指して～．日本医療マネジメント学会　第22回九州・山口連合大会（シンポジウム）．2025.11.28．別府市

3．末安正洋、小山敬、竹尾章宏．院内亜急性期災害対応机上訓練の経験．第31回日本災害医学会総会・学術集会．2026.3.19．新潟市

（講演）

1．今池彰、内藤光三．2025年度第１回病院機能改善支援セミナー．2025.8.1．福岡市

2025年度　治験・製造販売後調査実績

（単位・件）

	眼科	感染制御部	肝胆膵内科	緩和ケア科	血液内科	呼吸器内科	循環器内科	消化器内科	小計
治　験			3	1		5	4	8	21
製造販売後調査	1	1	1		7	3		2	15
	小児科	小児外科	腎臓内科	脳神経内科	脳神経外科	泌尿器科	臨床腫瘍科	整形外科	小計
治　験	1		1			3	1	1	7
製造販売後調査	0	1	1	9	1		1		13

治　験	28
製造販売後調査	28

主な委員会の活動状況

働き方改革委員会

（目的等）

好生館では、全ての職員が働きやすい環境のもとで能力を十分に発揮し、効率的かつ質の高い業務を遂行できる体制を整備するとともに、多様なライフスタイルと仕事の両立を実現することを目的として、「働き方改革委員会」を設置している。

本委員会では、職員の負担軽減や処遇改善に向けた取組の検討・推進を行い、働きやすい職場環境の実現と医療提供体制の質の向上に取り組んでいる。

また、働き方改革の推進にあたっては、業務の効率化、多職種連携の強化などを進め、職員が安心して能力を発揮できる環境整備に努めている。今後も、「好生館働き方改革憲章」の理念を踏まえ、職員一人ひとりが働きがいを持ち、心身ともに健康に働くことのできる職場づくりに努めていく。

（構成メンバー）

委員長、医師委員６名、看護師委員２名、
薬剤師委員１名、臨床検査技師委員１名、
診療放射線技師委員１名、管理栄養士委員１名、
臨床工学技士委員１名、言語聴覚士委員１名、
事務職委員２名、事務局４名

（開催状況）

2025年６月３日（応接会議室Ａ・Ｂ）

・負担の軽減及び処遇改善に関する取組事項について

2025年12月10日～31日（オンライン開催）

・負担の軽減及び処遇改善に関する取組事項について
・令和７年度計画の進捗状況について

【好生館働き方改革憲章】

21世紀に入り、我が国の社会構造は大きく変化した。経済成長の鈍化、少子高齢化、家族モデルの変化という３つの歯車が複雑に絡み合って、私たちの職場である（地方独立行政法人）佐賀県医療センター好生館（好生館）にもその影響が大きく押し寄せている。そこで、天保５年（1834年）に創設され、約140年にわたる県立病院時代を経て、平成22年（2010年）より地方独立行政法人化された好生館は、歴史と伝統を守りつつも、佐賀県の地域医療と県民の健康と命を守る責務から、現在、そして、これから更に大きく押し寄せる社会構造の変化に柔軟に対応するため、「好生館働き方改革憲章」を制定し、大胆な病院改革を継続的に進める。

好生館の働き方改革は、好生館に勤務する職員に働きやすい職場環境を与えるのみでなく、県民の命と健康を守る地域医療の質の向上に繋がる重要な改革である。これには、価値観の変革を必要とする困難な課題が山積するが、私たちは敢えてこの難問に立ち向かい、新しい快適な医療勤務環境を作り、地域社会に貢献するため、以下のとおり働き方改革憲章を定める。

【憲章】

1　患者を癒やし、その家族を支えることを第一義とする
2　心身ともに健康に働ける職場を創る
3　それぞれの夢と目的を持って働ける職場を創る
4　自らの家族を支え、家族が誇りに思う職場を創る
5　常に自らの意識改革に努め、多様な価値観が共存する職場を創る

保険診療委員会

（目的）

保険診療について、診療の質の向上と経営改善を図ることを目的として設置する。

（構成メンバー）

委員長（西村小児科部長）、副委員長（緒方副館長）、医師３名、薬剤師１名、看護師１名、事務４名

（開催状況） 毎月最終木曜日

４月24日
・保険減点査定分析（２月分）、再審査結果報告

５月29日
・保険減点査定分析（３月分）、再審査結果報告

６月26日
・保険減点査定分析（４月分）、再審査結果報告

７月31日
・保険減点査定分析（５月分）、再審査結果報告
ＡＩレセプトチェッカー導入について（入院）
支払基金からの連絡文書

８月28日
・保険減点査定分析（６月分）、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書

９月25日
・保険減点査定分析（７月分）、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書

10月30日
・保険減点査定分析（８月分)、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書
11月27日
・保険減点査定分析（９月分)、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書
12月25日
・保険減点査定分析（10月分)、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書
１月29日
・保険減点査定分析（11月分)、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書
２月26日
・保険減点査定分析（12月分)、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書
３月26日
・保険減点査定分析（１月分)、再審査結果報告
支払基金からの連絡文書

DPC 適正化委員会

（目的）

DPC（診断群分類別包括評価制度）対象病院として、厚生労働省が定めた要件の一つとして、DPC業務の適正な運用を図るため設置する。

（構成メンバー）

包括医療対象（DPC対象病床）の診療科部長、薬剤師、看護師、包括医療分析や請求を担当する者、その他、館長が必要と認めた者。
（医師委員：５名、看護師長：１名、薬剤師：１名、事務職員：４名、計11名）

（開催状況）

第１回　2025年10月30日（木）
１．詳細不明病名の変更結果について
２．詳細不明病名の使用について

第２回　2025年11月27日（木）
１．詳細不明病名の変更結果について
２．詳細不明病名の使用について

第３回　2025年12月25日（木）
１．詳細不明病名の変更結果について
２．詳細不明病名の使用について

第４回　2026年３月26日（木）
１．詳細不明病名の変更結果について
２．詳細不明病名の使用について
３．DPC調査事務局の報告

医療安全管理委員会

（構成メンバー）

内藤副館長・医療安全管理部長・GRM（委員長)、福岡感染制御部長（副委員長)、田中館長、緒方副館長・ペイシェントハラスメント対策委員長、宮地看護部長、草葉薬剤部長、岡田事務部長、馬場臨床工学技士長、森病理部長・クオリティマネジメント委員会委員長、武田呼吸器外科部長・医療安全対策委員会委員長、福井GRM、安座真IVRセンター長・放射線科部長代理（８月以降～中園放射線科部長)、松本脳神経外科部長、三浦麻酔科部長、本告医事課外来係長、吉山臨床研修医

（開催状況）

４月25日
医療安全対策委員会、クオリティマネジメント委員会、院内感染対策委員会(以下、「各委員会」)報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、2024年度インシデント・アクシデント報告数について

５月23日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、CVC挿入認定制度について

６月27日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、Pulse Field Ablation 自科麻酔について

７月30日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、ペイシェントハラスメント対策委員会設置について

８月21日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受

入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、DNAR指示に関する指針案等について

9月26日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、DNAR指示に関する指針案等について

10月24日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告について

11月26日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、設置要綱及び秩序維持管理要綱について

12月25日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、服薬管理について

1月23日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告について

2月27日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、救急外来におけるリストバンドを用いた患者確認フローチャート、救急カート点検表（小児）、化学療法剤血管外漏出が疑われた場合の対応・処置、転倒・転落、持参薬運用フロー、周術期休薬について

3月27日
各委員会報告、対応困難者状況報告、外国人受入状況報告、既読管理に関する分析、RRT要請状況報告、服薬管理、10.手術部関連：マーキング、21.給食関連：配膳・下膳の手順について

院内感染対策委員会

（目的）

院内感染は患者が多大なる不利益を被るのみでなく、人的・経済的に医療資源を圧迫し、結果として医療の質そのものを著しく低下させる。患者に良質で安全な医療を提供するため、院内感染を未然に防ぐ手段を恒常的に院内に周知および遵守させると同時に、医療スタッフの職業感染曝露を防止する。

（構成メンバー）

田中館長（委員長）、福岡感染制御部部長（副委員長）、内藤副館長・医療安全管理部部長、岩村救命救急センター長、久保田検査部部長、草葉薬剤部長、宮地看護部長、岡田事務部長、曲渕感染制御部医長、佐野臨床検査技師、武富薬剤師、野中看護師長、山口副看護師長・感染管理認定看護師、三好感染制御部専従看護師・感染管理認定看護師、研修医代表

（開催状況）

4月15日（多目的ホールA・B）
- 2025年度院内感染対策委員会委員紹介
- 感染制御部新メンバー紹介
- 2024年度感染制御部・ICT・AST活動目標の達成度
- 定例報告（血液培養実施状況、耐性菌検出状況・サーベイランス（MRSA、ESBL、AmpC、*C.difficile*）、キノロン耐性大腸菌分離頻度、手指衛生実施状況、抗菌薬（注射・経口）･抗真菌薬使用状況、コンサルテーション報告（感染対策・感染症診療）、血管内留置カテーテル関連血流感染症発生状況、職業感染関連報告、ICTラウンド報告）
- 感染症法に基づく届出疾患発生報告：肺結核1名､デング出血熱1名､播種性クリプトコックス症1名、侵襲性肺炎球菌感染症1名
- 2024年度血管内留置カテーテル関連血流感染症発生状況と解析
- 2024年度結核患者発生状況
- 令和6年度感染防止対策に関する相互評価実施報告
- 令和7年度新規採用職員研修オリエンテーション実施報告
- 令和7年度新規採用者 麻疹・風疹・水痘・流行性耳下腺炎ワクチン接種率について

5月20日（多目的ホールA・B）
・2025年度感染制御部・ICT・AST活動目標
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：重症熱性血小板減少症候群（SFTS）１名
・薬剤耐性菌発生状況（検出件数、発生率・感染率）の年次推移
・サーベイランス結果報告：消化器外科SSI、脳神経外科SSI
・（議案）耐性菌サーベイランスシートの電子化について
・（議案）感染対策マニュアル改訂：感染性廃棄物の管理

6月17日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：肺結核１名、日本紅斑熱１名
・結核患者発生状況
・４階西病棟中心ライン関連血流感染サーベイランス報告
・グラム陰性薬剤耐性菌対策：７階東病棟、救命救急センター
・４階西病棟入院患者の新型コロナウイルス感染事例
・一類感染症等対応チーム個人防護具着脱訓練
・（議案）感染対策マニュアル作成（新規）：小児発熱患者対応マニュアル、ダニ媒介感染症感染対策マニュアル

7月15日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：腸管出血性大腸菌１名、梅毒（神経梅毒・脊髄癆、胃梅毒）２名、百日咳２名
・グラム陰性薬剤耐性菌対策：ICU、７階西病棟

8月19日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：劇症型連鎖球菌感染症２名、水痘（入院）１名、百日咳１名
・薬剤供給制限問題について
・外来経口抗菌薬AWaRe分類報告
・７階東病棟排液用ディスポ容器の導入とコスト試算
・サーベイランス結果報告：消化器外科SSI
・一類感染症受入れ訓練１クール目終了報告
・令和７年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：白石共立病院

9月16日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：肺結核１名、重症熱性血小板減少症候群（SFTS）１名、日本紅斑熱１名、デング熱１名、劇症型連鎖球菌感染症１名
・結核患者発生状況
・結核患者発生に伴う接触者調査
・サーベイランス結果報告：脳神経外科SSI
・脳神経外科領域におけるSSI予防・対策について
・令和７年度　連携医療機関を対象とした好生館施設見学会の実施について
・（議案）感染対策マニュアル改訂：器材の洗浄・消毒・滅菌

10月21日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：肺結核１名、レジオネラ肺炎１名、後天性免疫不全症候群１名、劇症型連鎖球菌感染症１名
・結核患者発生状況
・脳神経外科領域におけるSSI予防・対策について
・感染症に関する説明書・問診票の見直し

11月18日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：結核（結核性腹膜炎）１名、梅毒（神経梅毒）１名
・結核患者発生状況
・結核患者発生に伴う接触者調査
・感染症臨床研究ネットワーク事業（iCROWN）：新興・再興感染症データバンク事業ナショナル・リポジトリ（REBIND）について
・令和７年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：サンテ溝上病院、富士大和温泉病院、早津江病院
・令和７年度連携医療機関を対象とした好生館施設見学会について
・2025年度職員のインフルエンザワクチン接種

状況

12月16日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌２名、侵襲性肺炎球菌感染症２名
・サーベイランス結果報告：消化器外科SSI、４階西病棟中心ライン関連血流感染（報告・意見交換会）
・TPNの調整運用について
・６階西病棟におけるCREアウトブレイク発生報告
・職員におけるインフルエンザA型クラスター発生報告（ICU・内視鏡室）
・職員のインフルエンザ感染状況
・水痘ワクチン２回接種歴のある職員の水痘発症と対応報告
・一類感染症等受入れ訓練　２クール目終了報告
・新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ罹患者に対する接触者リストについて
・（議案）感染対策マニュアル改訂：水痘・帯状疱疹患者入院時の対応

１月20日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：アメーバ赤痢２名、梅毒（口腔・咽頭）１名
・臨時ICTラウンド実施報告：SCU
・CREアウトブレイクに伴うSCU環境培養実施報告
・令和７年度指導強化加算施設基準に基づく連携医療機関訪問報告：もろどみ中央病院
・インフルエンザ感染状況報告
・令和７年度新型インフルエンザ患者搬送・受入れ訓練実施計画
・（議案）感染対策マニュアル作成：ベッドサイド超音波検査における感染対策

２月17日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告:結核（肺結核・結核性リンパ節炎、結核性胸膜炎）２名、侵襲性肺炎球菌感染症２名、侵襲性髄膜炎菌感染症１名
・結核患者発生状況
・インフルエンザ流行状況（佐賀県、好生館）
・サーベイランス結果報告：消化器外科SSI
・佐賀県初の侵襲性髄膜炎菌感染症患者発生報告
・救急外来における水痘患者と職員の接触報告
・職員の家族（子）の水痘発症対応報告
・新型インフルエンザ疑い患者搬送訓練実施報告
・令和７年度新興感染症を想定した訓練実施報告

３月17日（多目的ホールA・B）
・定例報告
・感染症法に基づく届出疾患発生報告：カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症３名
・インフルエンザ流行状況報告（佐賀県、好生館）
・３階西病棟関連職員における集団食中毒疑い発生報告
・2025年度一類感染症等対応チーム訓練報告
・令和７年度感染対策向上加算１の施設基準に基づく相互評価実施報告
・令和７年度感染防止対策加算１・指導強化加算に係る地域連携カンファレンス、新興感染症等の発生を想定した訓練、相互評価、連携医療機関訪問等実施報告
・「針刺し等に備えた抗HIV薬の配置」（佐賀県HIV感染症予防整備事業）について
・（議案）館内でのマスク着用ルールの変更について

救命救急センター運営委員会

（目的）

救命救急センター及び救急外来の運用を円滑に行い、好生館における救急医療の確立を図るため討議、協議を行う。

（構成メンバー）

委員長　救急科部長　岩村高志
副委員長　副館長　岩永健太郎
委　員　医師11名、看護師２名、ME １名、MSW １名、事務２名

（開催状況）

４月８日
新年度委員について、病床利用率･稼働率報告、

業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、令和６年度救命救急センターの充実度評価結果について

5月13日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

6月10日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告

7月８日
新規委員就任について、病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

8月（書面開催）
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

9月９日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告、重症外傷トラウマコールシステムの導入について

10月14日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

11月11日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

12月９日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告、ハイブリッドER運用検討ワーキング報告、トラウマコードシミュレーション訓練実施報告

1月13日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、年末年始救急外来患者状況報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告、患者説明書「創傷処置後に関すること」「インフルエンザに関すること」の承認について

2月10日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

3月10日
病床利用率・稼働率報告、業務報告、脳卒中センター・外傷センター実績報告、救急・夜間診療に関する作業部会報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告、夜間・休日 警察電話対応マニュアルの策定について

ICU 運営委員会

（目的）

ICUの運用を円滑に行い、好生館における集中治療機能の充実を図るため討議・協議を行う。

（構成メンバー）

委員長　集中治療部部長　三溝慎次
副委員長　心臓血管外科部長　里　学
委　員　医師10名、看護師２名、ME １名、MSW １名、事務２名

（開催状況）

４月８日　新年度委員について、業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT 報告

５月13日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、

RRT報告

6月10日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告

7月8日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

8月（書面開催）
業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

9月9日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

10月14日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

11月11日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

12月9日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

1月13日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

2月10日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告

3月10日　業務報告、病床利用率・稼働率報告、RRT報告、入院時重症患者対応メディエーター支援報告、令和8年度診療報酬改定 特定集中治療管理料について

診療記録管理委員会

（目的）

診療記録管理委員会は、診療録（診療記録）管理の適正化を図ることを目的としている。

（構成メンバー）

委員長（総合教育研修センター長）、
副委員長（リハビリテーション科部長）、
医師委員3名、看護師委員2名、
放射線技師委員1名、管理栄養士委員1名、
検査技師委員1名、薬剤師委員1名、
事務職員1名、事務局3名

（開催状況）

毎月第3水曜日

（今年度の主な検討議題）

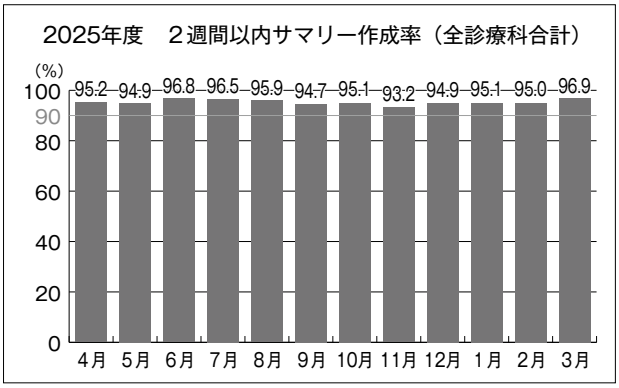
- 医師・診療情報管理士の診療録監査結果報告・改善策の検討
- 診療録監査項目配点･監査基準の見直しについて
- 新規文書登録について
- 同意書書式改訂
- 2重ID登録の運用見直し
- 診療録記載マニュアルの見直し
- 退院サマリー作成率向上に向けた管理体制

（監査結果状況）

2025年度は93.1％と前年度から1.7ポイント増加した。

（退院サマリー作成状況）

退院後2週間以内の退院サマリーの作成率の推移を以下に示す。2025年度の2週間以内の作成率は95.4％と前年度から0.2ポイント増加した。



図書委員会

（目的）

図書委員会は、図書の管理および適正化を図ることを目的とする。

（構成メンバー）

委員長、医師委員６名、
薬剤師委員１名、看護師委員１名、
事務職委員１名、事務局２名

（開催状況）

LINE WORKSにて開催（2025.11.05ほか）

1．2025年度の各部署からの図書購入希望について → 全て承認

2．文献・医学情報検索サイトについて

全医師にアンケートを実施し、クリニカルキーについては継続要求度および利用者数が低かったこと、契約利用料上昇が著しく、次年度は契約当初の2.5倍となること等から契約更新は検討を要すると判断し、次年度については統括責任者会議での判断を委ねることとした。クリニカルキー以外の今日の診療、今日の臨床サポート、医学中央雑誌（WEB版）、Up to Date、New England Journal of Medicineなどは継続することとした。

（文責：緒方　伸一）

クリニカルパス委員会

（目的）

当委員会では新たな治療などに対する新規クリニカルパスを各診療科に提案し、作成の助成を行うこと、既存のクリニカルパスをDPCや診療内容変更などに合わせた修正などを行い、医療の質の向上、医療プロセスの効率化を行うことで患者・家族をはじめとして県民の好生館への信頼度を高め、地域医療への一層の貢献を目的としています。

（構成メンバー）

委員長（吉田循環器内科部長）、副委員長（宮崎耳鼻咽喉科部長）、委員として看護師２名、薬剤師１名、企画経営課１名、医療情報部２名、図書診療録係２名の計10名で構成されております。

（開催状況）

毎月１回の開催としております。働き方改革の一環として、新規クリニカルパスの審査ならびにクリニカルパスの使用状況など、Web会議にて行うことが可能な議案についてはLINE WORKSを利用しております。

（今年度の主な活動）

例年と同じく、パス運用状況の把握、パス作成支援、新規申請パスの審査、DPCとの整合性のチェックや修正などを行っていきました。

（パス作成運用状況）

2025年度（令和７年）のクリニカルパス運用状況を以下に示します。2025年度のクリニカルパス適応率67.5%と当館の中期目標である62%を上回っておりました。新規クリニカルパスの作成件数12件を行い、日常業務の負担軽減ならびに患者様への安定した医療提供を行えるようにサポートを行いました。

また、DPC期間の変更などに併せて99件のクリニカルパス修正を行っております。

今後も各診療科に協力して頂き、緊急入院患者にも対応できるクリニカルパスの作成、よりよい診療のサポートができるようなクリニカルパスの作成に関わっていきたいと考えております。

（文責：吉田　敬規）

病院マネジメント推進会

（目的）

病院の全職員が病院運営に関する情報や問題意識を共有し、安全で効率的かつ質の高い医療を提供すること、また、全職員が健全な経営への参加意識を高めていくことを目的として、病院マネジメント推進会を定期的に開催する。

（構成メンバー）

委員長　総合教育研修センター長
副委員長　教育専従看護師長
委員（以下の部門より１名）
・医療安全管理委員会
・院内感染対策委員会
・医療コミュニケーション推進委員会
・災害対策室
・認知症ケアチーム／身体拘束最小化チーム
・褥瘡対策委員会
・医療情報部
・検査部

・薬剤部
・放射線部
・医事課
・事務部
事務局　総合教育研修センター 事務担当

2025年４月から2026年２月まで、毎月１回、全職員を対象に研修会を開催した。なお、好生館に勤務する全職員が受講を義務付けられている必須研修会（医療安全研修会、院内感染対策研修会、保険診療研修会、災害対策研修会、認知症ケア研修会、身体的拘束最小化研修会、情報セキュリティ研修会）については、DVD研修やe－ラーニングを併用することで、好生館で働く全職員が受講し、受講率100％となっている。

研修の詳細については、別紙の実績表参照。

（文責：甘利　香織）

倫理審査委員会・利益相反審査委員会

（構成メンバー）

久保田 寧（検査部長/委員長）、緒方 伸一（副館長）、草葉 一友（薬剤部長）、吉本 五一（統括診療部長）、吉村 達（糖尿病代謝内科部長）、宮地 由美子（看護部長）、岡田 俊（事務部長）、安波 道郎（総合臨床研究所/研究員）、安永 治郎（施設外委員/安永法律事務所弁護士）、齋藤 秀子（施設外委員/看護協会副会長）、山本 洋子（施設外委員/看護協会副会長）
施設外委員代理：藤﨑 純一（安永法律事務所弁護士）、前川 律子（佐賀県看護協会常務理事）
オブザーバー：貞嶋（臨床統計支援部）
事務局：小島、三浦（臨床試験推進部）

（開催状況）

定例の倫理審査委員会・利益相反審査委員会を月に１回開催した。2025年度の審議件数は下記の表の通りであった。倫理審査申請のうち66件が新規研究課題および医療倫理問題、11件が保険適応外使用・院内製剤等に関するもので合計77件であった。

（倫理審査　申請・報告総件数）

	新規申請(新規課題＋アンケート等)	変更申請	終了報告	合計
件数	71	48	18	137

（利益相反審査　申請件数）

	新規
件数	256

（メンバーの入れ替わりと今後について）

2024年度に吉村 達先生が安波 道郎先生から委員長を引き継ぎ、2025年度から検査部長の久保田がその後任となった。前 隆男委員、三好 篤委員に代わり、緒方 伸一委員、吉本 五一委員が加わり、また、施設外委員の斎藤 秀子氏から山本 洋子氏へ年度途中に交代があった。２名の施設外委員欠席時の代理として藤﨑 純一氏、前川 律子氏にお願いすることとした。

引き続き、2023年度に立ち上がった臨床倫理コンサルテーションチームと協力し、院内で生じた倫理的難題の解決にも取り組んでいきたい。コンサルト症例も徐々に増えてきている。また、毎月の定例開催に加えて、至急の審査を要する課題についての臨時開催も可能な限り行える体制作りに努める。さらに、好生館職員の独自の着想による研究を推進できるよう、申請にあたっての支援を継続していく。

（文責：久保田 寧）

情報管理委員会

（目的）

診療情報の管理、情報システムの整備及び運用並びに個人情報の保護及び適切な管理に関する事項について調査審議する。

（構成メンバー）

委員長（館長）、副委員長（副館長及び企画経営課長）、委員（医師７名、看護師２名、コメディカル６名、事務３名）

（開催状況）

2025年７月28日
1．令和６年度及び令和７年度DX推進計画について
2．2027年病院情報システム更新について
3．医用工学研究所「医療データ利活用促進プログラム」への参画について
4．その他

2025年９月25日
1．セキュリティ・チェックプロセス導入につ

いて
2．病院情報システム構築にかかるプロポーザル実施について
3．その他

（文責：峰　和樹）

2025

好生館この一年

Annual Supplement

2025年　令和７年



４月１日（火）

採用辞令交付式

医師、看護師、コメディカル、事務職員等、109名に採用辞令書を交付した。



４月９日（水）

看護師の特定行為研修開講式

看護師の特定行為研修の開講式を行い、受講生に受講許可証を交付した。



５月15日（木）、16日（金）

令和７年度全国自治体病院協議会 九州ブロック会議

ホテルニューオータニ佐賀にて、「働き方改革への対応～医療の質の維持と健全な病院経営のために～」をテーマに、令和7年度（第64回）全国自治体病院協議会九州ブロック会議を開催した。



６月28日（土）

県民公開講座

県民に正確な健康情報を提供することを目的に、アバンセホール（佐賀市）にて「正しく知ろう糖尿病～健やかな未来への第一歩～」をテーマとした県民公開講座を開催した。

2025年　令和7年



7月1日（火）

七夕飾り贈呈式

日新こども園好生館分園きららの子どもたちから、七夕飾りを寄贈いただいた。



7月2日（水）

消防訓練

病棟での火災を想定し、シナリオを事前に知らせないブライインド方式での消防訓練を実施した。



8月1日（金）

ふれあい看護体験

看護に関心のある高校生を対象に、看護への理解を深め、進路選択の参考にしてもらうことを目的として、公益社団法人佐賀県看護協会との共催により「ふれあい看護体験」を開催した。



8月9日（土）

ブラック・ジャックセミナー

子どもたちに医療への関心を高めてもらい、将来の進路選択の一助とすることを目的として、ジョンソン・エンド・ジョンソンと共同で、外科手術体験イベント「ブラック・ジャックセミナー」を開催した。

2025年　令和７年



８月20日（水）

佐賀県夏季地域医療実習

佐賀県出身の自治医科大学、佐賀大学、長崎大学の医学生を対象に、「地域医療と新興感染症」をテーマに夏季地域医療実習を行った。



９月４日（木）

看護師の特定行為研修修了式

看護師の特定行為研修を修了した看護師６名の修了式を行った。



９月13日（土）

佐賀救急医学会

今後迎える多死社会や高齢者救急の課題解決に向けて、救急医療と在宅医療のより一層の連携推進をテーマに、第47回佐賀救急医学会を開催した。



10月10日（金）

地域医療連携懇談会

「つなぐ、支える“医療ネットワーク”」をテーマに、ホテルニューオータニ佐賀にて令和７年度地域医療連携懇談会を開催し、県内外の連携医療機関から160名の参加を得た。

2025/2026年　令和7/8年



12月6日（土）

災害訓練

職員、好生館看護学院の学生、外部参加者を合わせて約250名が参加し、災害訓練を実施した。



12月22日（月）

本棚の寄贈

佐賀県立佐賀工業高等学校から、生徒が製作した本棚を寄贈いただいた。



1月23日（金）

部署別対抗ボウリング大会

部署別対抗ボウリング大会を開催し、総勢355名（競技者216名、応援者139名）が参加した。



1月31日（土）

がん県民公開講座

がんに関する正しい健康情報を提供し、がん検診の受診率向上及び健康寿命の延伸に寄与することを目的に、がん県民公開講座「サガせ！健康の鍵～知っておきたい肝臓がんのこと～」をサガテレビで放送した。

2026年　令和８年



２月６日（金）

令和７年度新興感染症想定訓練

一類感染症の一つであるエボラ出血熱の疑い患者の発生を想定し、新興感染症想定訓練を実施した。



２月６日（金）

嘉瀬小学校車椅子寄贈

佐賀市立嘉瀬小学校から、14台目となる車椅子を寄贈いただいた。



２月19日（木）

好生館シンポジウム

「経営の持続的成長を支える人材育成」をテーマに、佐賀市医師会館にて好生館シンポジウムを開催した。



３月14日（土）

好生館医学会総会

令和７年度好生館医学会総会を開催した。今年度は「みんなで創る好生館カイゼンプロジェクト」をテーマに掲げ、各部署における工夫や改善の取り組みについて発表を行った。

2026年　令和８年



３月16日（月）

職員表彰式

永年勤続者や、他の職員の模範となる顕著な業績を挙げた職員を対象に、令和７年度職員表彰式を行った。



３月16日（月）

臨床研修医修了式

基幹型臨床研修プログラムで２年間の研修を修了した第21期生11名の臨床研修医修了式を行った。



３月17日（火）

管理棟　定礎式

救急医療・災害時医療機能の充実、地域医療連携の強化、職場環境の向上を目的として建設した「管理棟」の定礎式を執り行った。



３月31日（火）

退職者辞令交付式

退職者131名の代表者に退職辞令書を交付した。

2025年　好生館年報

発 行 日　　令和８年（2026年）10月

発　　行　　地方独立行政法人
佐賀県医療センター好生館

佐賀市嘉瀬町中原400番地
電 話（0952）24－2171
FAX（0952）29－9390
WEB　https://www.koseikan.jp/



SAGA-KEN MEDICAL CENTRE KOSEIKAN
Annual Report 2025